股票代碼：8277

商丞科技股份有限公司及子公司
合併財務報告暨會計師核閱報告
民國 109 年及 108 年第 3 季

地　址：台北市內湖區瑞光路 513 巷 22 弄 5 號 3 樓

電　話：(02)8797-1108

商丞科技股份有限公司及子公司

合併財務報告目錄

項　　目	頁　　次
一、封　　面	—
二、目　　錄	—
三、會計師核閱報告	—
四、合併資產負債表	1
五、合併綜合損益表	2
六、合併權益變動表	3
七、合併現金流量表	4-5
八、合併財務報告附註	
(一)公司沿革	6
(二)通過財務報告之日期及程序	6
(三)新發布及修訂準則及解釋之適用	6-7
(四)重大會計政策之彙總說明	7-21
(五)重大會計判斷、估計及假設不確定性之主要來源	21-22
(六)重要會計項目之說明	22-39
(七)關係人交易	39-40
(八)質押之資產	40
(九)重大或有負債及未認列之合約承諾	40
(十)重大之災害損失	40
(十一)重大之期後事項	40
(十二)其　他	40-48
(十三)附註揭露事項	
1.重大交易事項相關資訊	48
2.轉投資事業相關資訊	48
3.大陸投資資訊	48
4.主要股東資訊	48
(十四)部門資訊	49-50

國富浩華聯合會計師事務所
Crowe (TW) CPAs
10541台北市松山區復興北路369號10樓
10F., No.369, Fusing N. Rd., Songshan Dist., Taipei City 10541, Taiwan
Tel +886 2 87705181
Fax +886 2 87705191
www.crowe.tw

會計師核閱報告

商丞科技股份有限公司 公鑒：

前言

商丞科技股份有限公司及子公司民國109年及108年9月30日之合併資產負債表，暨民國109年及108年7月1日至9月30日與民國109年及108年1月1日至9月30日之合併綜合損益表、民國109年及108年1月1日至9月30日之合併權益變動表及合併現金流量表，以及合併財務報表附註(包括重大會計政策彙總)，業經本會計師核閱竣事。依證券發行人財務報告編製準則暨經金融監督管理委員會認可並發布生效之國際會計準則第34號「期中財務報導」編製允當表達之合併財務報表係管理階層之責任，本會計師之責任係依據核閱結果對合併財務報表作成結論。

範圍

本會計師係依照審計準則公報第65號「財務報表之核閱」執行核閱工作。核閱合併財務報表時所執行之程序包括查詢(主要向負責財務與會計事務之人員查詢)、分析性程序及其他核閱程序。核閱工作之範圍明顯小於查核工作之範圍，因此本會計師可能無法察覺所有可藉由查核工作辨認之重大事項，故無法表示查核意見。

結論

依本會計師核閱結果，並未發現上開合併財務報表在所有重大方面有未依照證券發行人財務報告編製準則暨經金融監督管理委員會認可並發布生效之國際會計準則第34號「期中財務報導」編製，致無法允當表達商丞科技股份有限公司及子公司民國109年及108年9月30日之合併財務狀況，暨民國109年及108年7月1日至9月30日之合併財務績效及民國109年及108年1月1日至9月30日之合併財務績效及合併現金流量之情事。

國富浩華聯合會計師事務所

會計師：林春枝

會計師：林金圓

地　　址：台北市松山區復興北路369號10樓

電　　話：(02)8770-5181

核准簽證文號：金管證審字第1050001113號

中華民國109年11月5日

商丞科技股份有限公司及子公司

合 併 資 產 負 債 表

民國109年9月30日、民國108年12月31日及民國108年9月30日

單位：新台幣仟元

代碼	資產	109.09.30(經核閱) 金額	%	108.12.31(經查核) 金額	%	108.09.30(經核閱) 金額	%
	流動資產						
1100	現金及約當現金(註四及六)	$ 244,652	27	$ 285,905	35	$ 246,494	30
1110	透過損益按公允價值衡量之金融資產(註四及六)	7,346	1	-	-	-	-
1136	按攤銷後成本衡量之金融資產(註四及六)	64,330	7	66,888	8	69,912	9
1150	應收票據淨額－非關係人(註四及六)	2,716	-	5,256	-	530	-
1170	應收帳款淨額－非關係人(註四及六)	50,636	6	28,106	4	59,119	7
1200	其他應收款(註六)	1,169	-	105	-	872	-
1220	本期所得稅資產(註四及六)	203	-	324	-	276	-
1310	存貨淨額(註四及六)	122,546	14	27,953	4	32,390	4
1410	預付款項	10,906	1	2,136	-	2,589	-
1470	其他流動資產	4	-	8	-	3	-
	流動資產合計	504,508	56	416,681	51	412,185	50
	非流動資產						
1517	透過其他綜合損益按公允價值衡量之金融資產(註四及六)	6,390	1	38,199	5	37,646	5
1550	採用權益法之投資(註四及六)	10,180	1	6,212	1	8,554	1
1600	不動產、廠房及設備(註四、六及八)	300,471	34	302,237	37	310,185	38
1755	使用權資產(註四及六)	8,158	1	11,387	1	12,640	2
1805	商譽(註四及六)	19,800	2	-	-	-	-
1821	其他無形資產(註四及六)	8,906	1	-	-	-	-
1840	遞延所得稅資產(註四及六)	13,402	1	21,954	3	23,063	3
1975	淨確定福利資產(註四及六)	8,601	1	8,601	1	6,523	-
1900	其他非流動資產(註六及八)	15,036	2	8,807	1	8,822	1
	非流動資產合計	390,944	44	397,397	49	407,433	50
	資產總額	$ 895,452	100	$ 814,078	100	$ 819,618	100

代碼	負債及權益	109.09.30(經核閱) 金額	%	108.12.31(經查核) 金額	%	108.09.30(經核閱) 金額	%
	流動負債						
2130	合約負債(註四及六)	$ 1,636	-	$ 934	-	$ 347	-
2150	應付票據－非關係人	42	-	43	-	63	-
2170	應付帳款－非關係人	50,965	6	24,486	3	20,927	3
2200	其他應付款(註六)	22,505	3	16,900	2	16,583	2
2280	租賃負債(註四及六)	3,905	-	4,467	-	4,455	-
2300	其他流動負債	341	-	250	-	216	-
	流動負債合計	79,394	9	47,080	5	42,591	5
	非流動負債						
2580	租賃負債(註四及六)	4,407	-	7,060	1	8,302	1
2645	存入保證金	186	-	516	-	588	-
2655	股東往來(註七)	38,500	5	-	-	-	-
	非流動負債合計	43,093	5	7,576	1	8,890	1
	負債合計	122,487	14	54,656	6	51,481	6
	歸屬於母公司業主之權益						
3110	股　本(註六)	916,288	102	916,288	113	916,288	112
	保留盈餘(註六)						
3310	法定盈餘公積	7,306	1	7,306	1	7,306	-
3350	待彌補虧損	(210,636)	(24)	(162,179)	(20)	(153,585)	(18)
	保留盈餘合計	(203,330)	(23)	(154,873)	(19)	(146,279)	(18)
3400	其他權益項目(註四及六)	(8,610)	(1)	(3,406)	-	(3,372)	-
	母公司業主權益合計	704,348	78	758,009	94	766,637	94
36xx	非控制權益(註六)	68,617	8	1,413	-	1,500	-
	權益合計	772,965	86	759,422	94	768,137	94
	負債及權益總額	$ 895,452	100	$ 814,078	100	$ 819,618	100

(後附之附註係本合併財務報告之一部分)

董事長：程慶中　　經理人：程慶中　　會計主管：陳秀玉

商丞科技股份有限公司及子公司

合 併 綜 合 損 益 表

民國109年及108年7月1日至9月30日及1月1日至9月30日

僅經核閱，未依一般公認審計準則查核

單位：新台幣仟元

(除每股盈餘金額為元外)

代碼	項目	109年7月至9月 金額	%	108年7月至9月 金額	%	109年1月至9月 金額	%	108年1月至9月 金額	%
4100	營業收入淨額(註四及六)	$ 114,647	100	$ 431,710	100	$ 314,600	100	$ 862,579	100
5110	營業成本(註六)	(101,300)	(88)	(426,226)	(99)	(277,711)	(88)	(858,936)	(100)
5900	營業毛利	13,347	12	5,484	1	36,889	12	3,643	-
	營業費用(註六)								
6100	推銷費用	(6,945)	(6)	(5,911)	(1)	(17,887)	(6)	(20,382)	(2)
6200	管理及總務費用	(15,663)	(14)	(13,819)	(4)	(39,267)	(13)	(38,602)	(5)
6300	研究發展費用	(12,589)	(11)	(6,165)	(1)	(23,533)	(7)	(19,982)	(2)
	營業費用合計	(35,197)	(31)	(25,895)	(6)	(80,687)	(26)	(78,966)	(9)
6900	營業損失	(21,850)	(19)	(20,411)	(5)	(43,798)	(14)	(75,323)	(9)
	營業外收入及支出								
7100	利息收入	167	-	607	-	935	-	1,864	-
7020	其他利益及損失(註六)	1,979	2	1,428	-	7,714	2	4,205	1
7050	財務成本(註四及七)	(330)	-	(84)	-	(463)	-	(292)	-
7060	採用權益法認列之關聯企業及合資損失之份額(註四及六)	(2,821)	(3)	(2,339)	-	(7,209)	(2)	(6,557)	(1)
	營業外收入及支出合計	(1,005)	(1)	(388)	-	977	-	(780)	-
7900	稅前淨損	(22,855)	(20)	(20,799)	(5)	(42,821)	(14)	(76,103)	(9)
7950	所得稅費用(註四及六)	(2,406)	(2)	(3,690)	(1)	(9,888)	(3)	(10,070)	(1)
8000	本期淨損	(25,261)	(22)	(24,489)	(6)	(52,709)	(17)	(86,173)	(10)
	其他綜合損益								
8310	不重分類至損益之項目								
8316	透過其他綜合損益按公允價值衡量之權益工具投資未實現評價損失	(3,180)	(3)	(1,680)	-	(2,655)	(1)	(2,460)	-
8349	與不重分類之項目相關之所得稅	-	-	-	-	-	-	-	-
	不重分類至損益之項目合計	(3,180)	(3)	(1,680)	-	(2,655)	(1)	(2,460)	-
8360	後續可能重分類至損益之項目								
8361	國外營運機構財務報表換算之兌換差額	-	-	(6)	-	(1,532)	-	111	-
8399	與可能重分類之項目相關之所得稅	-	-	1	-	1,307	-	(22)	-
	後續可能重分類至損益之項目合計	-	-	(5)	-	(225)	-	89	-
	本期其他綜合損益(稅後淨額)	(3,180)	(3)	(1,685)	-	(2,880)	(1)	(2,371)	-
8500	本期綜合損益總額	$ (28,441)	(25)	$ (26,174)	(6)	$ (55,589)	(18)	$ (88,544)	(10)
	淨損歸屬於：								
8610	母公司業主淨損	$ (19,670)	(17)	$ (24,402)	(6)	$ (46,958)	(15)	$ (85,908)	(10)
8620	非控制權益淨損	(5,591)	(5)	(87)	-	(5,751)	(2)	(265)	-
		$ (25,261)	(22)	$ (24,489)	(6)	$ (52,709)	(17)	$ (86,173)	(10)
	綜合損益總額歸屬於：								
8710	母公司業主綜合損益	$ (22,850)	(20)	$ (26,087)	(6)	$ (49,838)	(16)	$ (88,279)	(10)
8720	非控制權益綜合損益	(5,591)	(5)	(87)	-	(5,751)	(2)	(265)	-
		$ (28,441)	(25)	$ (26,174)	(6)	$ (55,589)	(18)	$ (88,544)	(10)
	每股盈餘(註四及六)								
9750	基本每股盈餘	$ (0.21)		$ (0.27)		$ (0.51)		$ (0.94)	

(後附之附註係本合併財務報告之一部分)

董 事 長：程慶中　　經 理 人：程慶中　　會 計 主 管：陳秀玉

商丞科技股份有限公司及子公司

合 併 權 益 變 動 表

民國109年及108年1月1日至9月30日

僅經核閱，未依一般公認審計準則查核

單位：新台幣仟元

代碼		歸屬於母公司業主之權益							
			保留盈餘		其他權益項目				
		股本	法定盈餘公積	待彌補虧損	國外營運機構財務報表換算之兌換差額	透過其他綜合損益按公允價值衡量之金融資產未實現損失	歸屬於母公司業主權益總計	非控制權益	權益總額
A1	民國108年1月1日餘額	$ 916,288	$ 7,306	$ (66,622)	$ 723	$ (1,724)	$ 855,971	$ 1,765	$ 857,736
C7	採用權益法認列之關聯企業及合資之變動數	-	-	(1,055)	-	-	(1,055)	-	(1,055)
D1	民國108年1月1日至9月30日淨損	-	-	(85,908)	-	-	(85,908)	(265)	(86,173)
D3	民國108年1月1日至9月30日其他綜合損益	-	-	-	89	(2,460)	(2,371)	-	(2,371)
D5	民國108年1月1日至9月30日綜合損益總額	-	-	(85,908)	89	(2,460)	(88,279)	(265)	(88,544)
Z1	民國108年9月30日餘額	$ 916,288	$ 7,306	$ (153,585)	$ 812	$ (4,184)	$ 766,637	$ 1,500	$ 768,137
A1	民國109年1月1日餘額	$ 916,288	$ 7,306	$ (162,179)	$ 225	$ (3,631)	$ 758,009	$ 1,413	$ 759,422
C7	採用權益法認列之關聯企業及合資之變動數	-	-	(3,823)	-	-	(3,823)	-	(3,823)
D1	民國109年1月1日至9月30日淨損	-	-	(46,958)	-	-	(46,958)	(5,751)	(52,709)
D3	民國109年1月1日至9月30日其他綜合損益	-	-	-	(225)	(2,655)	(2,880)	-	(2,880)
D5	民國109年1月1日至9月30日綜合損益總額	-	-	(46,958)	(225)	(2,655)	(49,838)	(5,751)	(55,589)
O1	非控制權益	-	-	-	-	-	-	72,955	72,955
Q1	處分透過其他綜合損益按公允價值衡量之權益工具	-	-	2,324	-	(2,324)	-	-	-
Z1	民國109年9月30日餘額	$ 916,288	$ 7,306	$ (210,636)	$ -	$ (8,610)	$ 704,348	$ 68,617	$ 772,965

（後附之附註係本合併財務報告之一部分）

董 事 長：程慶中　　經 理 人：程慶中　　會 計 主 管：陳秀玉

商丞科技股份有限公司及子公司

合 併 現 金 流 量 表

民國109年及108年1月1日至9月30日

僅經核閱，未依一般公認審計準則查核

單位：新台幣仟元

代碼		109年1月至9月	108年1月至9月
AAAA	營業活動之現金流量		
A10000	本期稅前淨損	$ (42,821)	$ (76,103)
A20000	調整項目		
A20100	折舊費用	10,637	10,238
A20200	攤銷費用	200	-
A20400	透過損益按公允價值衡量金融資產之淨利益	(1,936)	-
A20900	利息費用	463	292
A21200	利息收入	(935)	(1,864)
A22300	採用權益法認列之關聯企業及合資損失之份額	7,209	6,557
A31000	與營業活動相關之資產之淨變動		
A31115	強制透過損益按公允價值衡量之金融資產增加	(5,410)	-
A31130	應收票據淨額－非關係人減少	2,540	1,492
A31150	應收帳款淨額－非關係人增加	(10,540)	(10,150)
A31180	其他應收款增加	(970)	(536)
A31200	存貨淨額(增加)減少	(19,858)	48,715
A31230	預付款項增加	(887)	(1,213)
A31240	其他流動資產減少	4	7
A32000	與營業活動相關之負債之淨變動		
A32125	合約負債減少	(466)	(567)
A32130	應付票據－非關係人減少	(469)	(967)
A32150	應付帳款－非關係人增加(減少)	20,026	(3,031)
A32180	其他應付款增加(減少)	315	(2,414)
A32230	其他流動負債增加(減少)	3	(52)
A33000	營運產生之現金流出	(42,895)	(29,596)
A33100	收取之利息	903	1,664
A33300	支付之利息	(463)	(302)
A33500	退還之所得稅	121	63
AAAA	營業活動之淨現金流出	(42,334)	(28,171)

(接 下 頁)

（承　前　頁）

代碼		109年1月至9月	108年1月至9月
BBBB	投資活動之現金流量		
B00040	取得按攤銷後成本衡量之金融資產	-	(102)
B00050	處分按攤銷後成本衡量之金融資產	2,558	-
B01800	取得採用權益法之投資	(15,000)	(6,052)
B02200	對子公司之收購(扣除所取得之現金)	17,566	-
B02700	取得不動產、廠房及設備	(2,660)	(4,999)
B06800	其他非流動資產減少	4,353	2,330
BBBB	投資活動之淨現金流出	6,817	(8,823)
CCCC	籌資活動之現金流量		
C03100	存入保證金減少	(330)	(1)
C04020	租賃本金償還	(3,874)	(3,639)
CCCC	籌資活動之現金流入(出)	(4,204)	(3,640)
DDDD	匯率變動對現金及約當現金之影響	(1,532)	46
EEEE	本期現金及約當現金減少數	(41,253)	(40,588)
E00100	期初現金及約當現金餘額	285,905	287,082
E00200	期末現金及約當現金餘額	$ 244,652	$ 246,494

（後附之附註係本合併財務報告之一部分）

董 事 長：程慶中　　經 理 人：程慶中　　會 計 主 管：陳秀玉

商丞科技股份有限公司及子公司

合 併 財 務 報 告 附 註

民國109年及108年1月1日至9月30日

僅經核閱，未依一般公認審計準則查核

（除另有註明外，所有金額均以新台幣仟元為單位）

一、公司沿革

商丞科技股份有限公司(以下稱本公司)於民國83年5月16日依公司法及有關法令設立，主要係從事事務機器、資料儲存及處理設備、電子零組件等之製造及事務機器設備批發、零售及國際貿易業務。本公司之股票自民國93年12月27日起於財團法人中華民國證券櫃檯買賣中心上櫃買賣。

本公司以民國102年1月1日為合併基準日與普樺科技股份有限公司(以下簡稱普樺科技)合併，合併後本公司為存續公司。

二、通過財務報告之日期及程序

本合併財務報告業已於民國109年11月5日經提報董事會後發布。

三、新發布及修訂準則及解釋之適用

(一)首次適用經金融監督管理委員會(以下稱「金管會」)認可並發布生效之國際財務報導準則(IFRS)、國際會計準則(IAS)、解釋(IFRIC)及解釋公告(SIC)(以下稱「IFRSs」)。

下表彙列金管會認可之民國109年度適用之國際財務報導準則之新發布、修正及修訂之準則及解釋：

新發布／修正／修訂準則及解釋	IASB發布之生效日
IAS 1及IAS 8之修正「重大性之定義」	2020年1月1日
IFRS 3之修正「業務之定義」	2020年1月1日
IFRS 9、IAS 39及IFRS 7之修正「利率指標變革」	2020年1月1日
IFRS 16之修正「新型冠狀病毒肺炎相關租金減讓」	2020年6月1日(註)

註：金管會允許提前於2020年1月1日適用。

除下列說明外，首次適用金管會認可並發布生效之IFRSs對合併公司並無重大影響:

合併公司選擇提前自民國109年1月1日以後開始之會計年度適用金管會已認可之國際財務報導準則第16號「新型冠狀病毒肺炎相關租金減讓」修正，並依該修訂準則之過渡規定處理。對符合新型冠狀病毒肺炎大流行之直接結果而發生之相關租金減讓選擇不評估其是否係租賃修改，而將租賃給付之減少於減讓事件或情況發生時認列於損益並相對調減租賃負債。由於前述情況之租金協商自民

國 109 年始發生，故追溯適用該修正不影響民國 109 年 1 月 1 日之保留盈餘。

(二)國際會計準則理事會(IASB)已發布但尚未經金管會認可並發布生效之 IFRSs

新發布／修正／修訂準則及解釋	IASB 發布之生效日(註1)
「2018－2020 週期之年度改善」	2022 年 1 月 1 日(註 2)
IFRS 3 之修正「更新對觀念架構之引述」	2022 年 1 月 1 日(註 3)
IFRS 4 之修正「暫時豁免適用 IFRS 9 之延長」	2020 年 6 月 25 日(發布日起生效)
IFRS 9、IAS 39、IFRS 7、IFRS 4 及 IFRS 16 之修正「利率指標變革－第二階段」	2021 年 1 月 1 日
IFRS 10 及 IAS 28 之修正「投資者與其關聯企業或合資間之資產出售或投入」	未定
IFRS 17「保險合約」	2023 年 1 月 1 日
IFRS 17 之修正	2023 年 1 月 1 日
IAS 1 之修正「負債分類為流動或非流動」	2023 年 1 月 1 日
IAS 16 之修正「不動產、廠房及設備：達到預定使用狀態前之價款」	2022 年 1 月 1 日(註 4)
IAS 37 之修正「虧損性合約—履行合約之成本」	2022 年 1 月 1 日(註 5)

註 1：除另註明外，上述新發布／修正／修訂準則或解釋係於各該日期以後開始之年度報導期間生效。

註 2：IFRS 9 之修正適用於 2022 年 1 月 1 日以後開始之年度報導期間所發生之金融負債之交換或條款修改；IAS 41 之修正適用於 2022 年 1 月 1 日以後開始之年度報導期間之公允價值衡量；IFRS 1 之修正係追溯適用於 2022 年 1 月 1 日以後開始之年度報導期間。

註 3：收購日在年度報導期間開始於 2022 年 1 月 1 日以後之企業合併適用此項修正。

註 4：企業應追溯適用該等修正內容，惟僅適用於企業第一次適用該等修正內容之財務報表中所表達之最早期間開始日（2021 年 1 月 1 日）以後達到能符合管理階層預期運作方式之必要地點及狀態之不動產、廠房及設備項目。

註 5：於 2022 年 1 月 1 日尚未履行所有義務之合約適用此項修正。

截至本合併財務報告通過發布日止，合併公司仍持續評估其他準則、解釋之修正對財務狀況與財務績效之影響，相關影響待評估完成時予以揭露。

四、重大會計政策之彙總說明

(一)遵循聲明

本合併財務報告係依照證券發行人財務報告編製準則及經金管會認可之國際會計準則第 34 號「期中財務報導」編製。本合併財務報告並未包含整份年度財務報告所規定之所有 IFRSs 揭露資訊。

(二)編製基礎

除按公允價值衡量之金融工具及按確定福利義務現值減除計畫資產公允價值認列之淨確定福利負債外，本合併財務報告係依歷史成本基礎編製。

(三)合併基礎

1.合併報表編製原則

本合併財務報告係包含本公司及由本公司所控制個體(即子公司,含結構型個體)之財務報表。合併綜合損益表已納入被收購或被處分子公司於當年度自收購日起或至處分日止之營運損益。子公司之財務報告已予調整,俾使其會計政策與合併公司之會計政策一致。

編製合併財務報告時,各個體間之重大交易、帳戶餘額、收益及費損業已全數予以銷除。子公司之綜合損益總額係歸屬至本公司業主及非控制權益,即使非控制權益因而成為虧損餘額。

當合併公司對子公司所有權權益之變動未導致喪失控制者,係以權益交易處理。合併公司及非控制權益之帳面金額已予調整,以反映其於子公司相對權益之變動。非控制權益之調整數與所支付或收取對價公允價值間之差額,係直接認列於權益且歸屬於本公司業主。

當合併公司喪失對子公司之控制時,處分損益係為下列兩者之差額:(1)所收取對價之公允價值與對前子公司之剩餘投資按喪失控制日之公允價值合計數,以及(2)前子公司之資產(含商譽)與負債及非控制權益按喪失控制日之帳面金額合計數。合併公司對於其他綜合損益中所認列與該子公司有關之所有金額,其會計處理係與合併公司直接處分相關資產或負債所必須遵遁之基礎相同。

對前子公司剩餘投資係按喪失控制日之公允價值,作為原始認列投資關聯企業之成本。

2.列入本合併財務報告之編製主體如下:

投資公司名稱	子公司名稱	業務性質	所持股權百分比 109.09.30	108.12.31	108.09.30
商丞科技	BILLION RAY TECHNOLOGIES LIMITED (以下簡稱子公司—BILLION RAY)(註1)	海外控股公司	—	100.00%	100.00%
BILLION RAY	寧波豪威科技有限公司 (以下簡稱子公司—寧波豪威)(註2)	電腦週邊設備製造與買賣業務	—	100.00%	100.00%
商丞科技	鳳凰高科材料股份有限公司 (以下簡稱子公司—鳳凰高科)	塑膠膜及其他高科技化學材料製造	98.57%	98.57%	98.57%
商丞科技	展連科技股份有限公司 (以下簡稱子公司—展連科技)(註3)	無線通信機械器材製造、電子零組件製造、電信器材批發及零售、電子材料批發及零售、電信管制射頻器材輸入及國際貿易等	38.28%	—	—

註 1: 合併公司為調整組織結構，經董事會決議將子公司－BILLION RAY 結束營業並辦理註銷登記，截至民國 109 年 9 月 30 日止，子公司－BILLION RAY 正在辦理註銷登記，並已匯回剩餘款項。

註 2：合併公司為調整組織結構，經民國 109 年 1 月 10 日董事會決議將子公司－寧波豪威結束營業並辦理註銷登記，子公司－寧波豪威已於民國 109 年 5 月完成清算程序，並匯回剩餘款項。

註 3：合併公司於民國 109 年 7 月 17 日參與展連科技現金增資，累計持股比例達 38.28%並取得對展連科技之控制，故自該日起併入合併報告，請詳附註六(三)及(二十)之說明。

3. 未列入合併財務報告之子公司：無。

4. 子公司會計期間不同之調整及處理方式：無。

5. 子公司持有母公司發行證券之內容: 無。

6. 重大限制: 無。

7. 具重大非控制權益之子公司資訊：

子公司之非控制權益對合併公司具重大性者如下：

子公司名稱	主要營業場所	非控制權益之所有權權益及表決權之比例 109.09.30
展連科技	台灣	61.72%

子公司彙總性財務資訊：

資產負債表

	109.09.30
流動資產	$ 149,938
非流動資產	15,944
流動負債	(15,760)
非流動負債	(40,851)
權　　益	$ 109,271
權益歸屬於：	
本公司	$ 41,829
非控制權益	67,442
	$ 109,271

綜合損益表

	109.7.17~109.09.30
營業收入	$ 5,754
本期淨損	$ (8,931)
其他綜合損益	—
本期綜合損益總額	$ (8,931)
淨損歸屬於：	
本公司	$ (3,419)
非控制權益	(5,512)
	$ (8,931)
綜合損益總額歸屬於：	
本公司	$ (3,419)
非控制權益	(5,512)
	$ (8,931)
支付予非控制權益之股利	$ —

現金流量表

	109.7.17~109.09.30
營業活動之淨現金流出	$ (7,492)
投資活動之淨現金流出	(11,557)
籌資活動之淨現金流出	(558)
現金及約當現金淨減少數	$ (19,607)

(四)企業合併

企業合併係採收購法處理。收購相關成本於成本發生及勞務取得當期列為費用。

商譽係按移轉對價之公允價值、被收購者之非控制權益金額以及收購者先前已持有被收購者之權益於收購日之公允價值之總額，超過收購日所取得可辨認資產及承擔負債之淨額衡量。

分階段達成之企業合併係以收購日之公允價值再衡量合併公司先前已持有被收購者之權益，若因而產生任何利益或損失，則認列為損益。因先前已持有被收購者之權益而於收購日前已認列於其他綜合損益之金額，係按與合併公司若直接處分其先前已持有權益之相同基礎認列。

(五)外　　幣

各合併個體之財務報表係以該個體營運所處主要經濟環境之貨幣(功能性貨幣)編製表達。合併公司之功能性貨幣及合併報表之表達貨幣為新台幣。

各個體編製財務報告時，以個體功能性貨幣以外之貨幣交易者，依交易日匯率換算為功能性貨幣記錄。於每一報導期間結束日，外幣貨幣性項目以收盤匯率換算。

以公允價值衡量之外幣非貨幣性項目，係以決定公允價值當日之匯率換算，所產生之兌換差額列為當期損益，惟屬公允價值變動認列於其他綜合損益者，其產生之兌換差額列於其他綜合損益。

以歷史成本衡量之外幣非貨幣性項目係以交易日之匯率換算，不再重新換算。

於編製合併財務報告時，合併公司國外營運機構之資產及負債以每一報導期間結束日匯率換算為表達貨幣新台幣；收益及費損項目係以當期平均匯率換算，所產生之兌換差額認列為其他綜合損益，並適當歸屬予本公司業主及非控制權益。

(六)資產與負債區分流動與非流動之標準

流動資產包括現金及約當現金，主要為交易目的而持有及預期於報導期間結束日後12個月內實現之資產，但不包括於報導期間結束日後逾12個月用以交換或清償負債或受有其他限制者。流動負債包括主要為交易目的而持有之負債、於報導期間結束日後12個月內到期清償之負債，以及不能無條件將清償期限遞延至報導期間結束日後至少12個月之負債。

非屬上述流動資產或流動負債者，係分類為非流動資產或非流動負債。

(七)約當現金

現金及約當現金包括庫存現金、銀行存款及隨時可轉換成定額現金且價值變動風險甚小之短期並具高度流動性之投資(包括原始到期日在三個月內之定期存款)。

(八)金融工具

金融資產與金融負債於合併公司成為該工具合約條款之一方時認列。

原始認列金融資產與金融負債時，若金融資產或金融負債非屬透過損益按公允價值衡量者，係按公允價值加計直接可歸屬於取得或發行金融資產或金融負債之交易成本衡量。直接可歸屬於取得或發行透過損益按公允價值衡量之金融資產或金融負債之交易成本，則立即認列為損益。

(九)金融資產

金融資產之慣例交易係採交易日會計認列及除列。

1.衡量種類

合併公司所持有之金融資產種類如下：

(1)透過損益按公允價值衡量之金融資產

透過損益按公允價值衡量之金融資產包括強制透過損益按公允價值衡量及指定為透過損益按公允價值衡量之金融資產。強制透過損益按公允價值衡量之金融資產包括未指定透過其他綜合損益按公允價值衡量之權益工具投資，及不符合分類為按攤銷後成本衡量或透過其他綜合損益按公允價值衡量之債務工具投資。

透過損益按公允價值衡量之金融資產係按公允價值衡量，其產生之利益或損失(包含該金融資產所產生之股利或利息)係認列於損益。

(2)透過其他綜合損益按公允價值衡量之權益工具投資

合併公司於原始認列時，可作一不可撤銷之選擇，將非持有供交易且非企業合併收購者所認列或有對價之權益工具投資，指定透過其他綜合損益按公允價值衡量。

透過其他綜合損益按公允價值衡量之權益工具投資係按公允價值衡量，後續公允價值變動列報於其他綜合損益，並累計於其他權益中。於投資處分時，累積損益直接移轉至保留盈餘，並不重分類為損益。

透過其他綜合損益按公允價值衡量之權益工具投資之股利於合併公司收款之權利確立時認列於損益中，除非該股利明顯代表部分投資成本之回收。

(3)按攤銷後成本衡量之金融資產

合併公司投資金融資產若同時符合下列兩條件，則分類為按攤銷後成本衡量之金融資產：

A.係於某經營模式下持有，該模式之目的係持有金融資產以收取合約現金流量；及

B.合約條款產生特定日期之現金流量，該等現金流量完全為支付本金及流通在外本金金額之利息。

按攤銷後成本衡量之金融資產(包括現金及約當現金及按攤銷後成本衡量之應收帳款)於原始認列後，係以有效利息法決定之總帳面金額減除任何減損損失之攤銷後成本衡量，任何外幣兌換損益則認列於損益。

2.金融資產及合約資產之減損

合併公司於每一報導期間結束日按預期信用損失評估按攤銷後成本衡量之金融資產(含應收帳款)、透過其他綜合損益按公允價值衡量之債務工具投資、應收租賃款及合約資產之減損損失。

應收帳款、合約資產及應收租賃款均按存續期間預期信用損失認列備抵損失。其他金融資產係先評估自原始認列後信用風險是否顯著增加，若未顯著增加，則按 12 個月預期信用損失認列備抵損失，若已顯著增加，則按存續期間預期信用損失認列備抵損失。

預期信用損失係以發生違約之風險作為權重之加權平均信用損失。12 個月預期信用損失係代表金融工具於報導日後 12 個月內可能違約事項所產生之預期信用損失，存續期間預期信用損失則代表金融工具於預期存續期間所有可能違約事項產生之預期信用損失。

所有金融資產之減損損失係藉由備抵帳戶調降其帳面金額，惟透過其他綜合損益按公允價值衡量之債務工具投資之備抵損失係認列於其他綜合損益，並不減少其帳面金額。

3.金融資產之除列

合併公司僅於對來自金融資產現金流量之合約權利失效，或已移轉金融資產且該資產所有權之幾乎所有風險及報酬已移轉予其他企業時，始將金融資產除列。

按攤銷後成本衡量之金融資產整體除列時，其帳面金額與所收取對價間之差額係認列於損益。透過其他綜合損益按公允價值衡量之權益工具投資整體除列時，累積損益直接移轉至保留盈餘，並不重分類為損益。

(十)<u>金融負債及權益工具</u>

合併公司發行之債務及權益工具係依據合約協議之實質與金融負債及權益工具之定義分類為金融負債或權益。

1.權益工具

權益工具係指表彰合併公司於資產減除所有負債後剩餘權益之任何合約。合併公司發行之權益工具係以取得之價款扣除直接發行成本後之金額認列。

再取回本公司本身之權益工具係於權益項下認列與減除。購買、出售、發行或註銷本公司本身之權益工具不認列於損益。

2.金融負債

金融負債係按有效利息法計算之攤銷後成本或透過損益按公允價值做後續衡量。

透過損益按公允價值衡量之金融負債包括持有供交易及指定為透過損益按公允價值衡量之金融負債。

透過損益按公允價值衡量之金融負債係按公允價值衡量，任何因再衡量產生之利益或損失係認列為損益。

金融負債非屬持有供交易及指定透過損益按公允價值衡量者，係以有效利息法按攤銷後成本衡量。

3.金融負債之除列

合併公司僅於義務解除、取消或到期時，始將金融負債除列。除列金融負債時，其帳面金額與所支付對價間之差額認列為損益。

(十一)存　　貨

合併公司存貨包括原料、在製品、半成品、製成品及商品等，係以實際購入成本為入帳基礎，成本計算採加權平均法。

存貨係以成本與淨變現價值孰低衡量，比較成本與淨變現價值時以個別項目為基礎。淨變現價值係指在正常情況下，估計售價減除至完工尚需投入之估計成本及推銷費用後之餘額。

(十二)投資關聯企業

關聯企業係指合併公司具有重大影響，但非屬子公司或合資權益之企業。

合併公司採用權益法處理對關聯企業之投資。權益法下，投資關聯企業原始依成本認列，取得日後帳面金額係隨合併公司所享有之關聯企業損益及其他綜合損益份額與利潤分配而增減。此外，針對關聯企業權益之變動係按持股比例認列。

當合併公司對關聯企業之損失份額等於或超過其在該關聯企業之權益(包括權益法下投資關聯企業之帳面金額及實質上屬於合併公司對該關聯企業淨投資組成部分之其他長期權益)時，即停止認列進一步之損失。合併公司僅於發生法定義務、推定義務或已代關聯企業支付款項之範圍內，認列額外損失及負債。

取得成本超過合併公司於取得日所享有關聯企業可辨認資產及負債淨公允價值份額之數額列為商譽，該商譽係包含於該投資之帳面金額且不得攤銷；合併公司於取得日所享有關聯企業可辨認資產及負債淨公允價值份額超過取得成本之數額列為當期損益。

關聯企業發行新股時，合併公司若未按持股比例認購，致使持股比例發生變動，並因而使投資之股權淨值發生增減時，其增減數調整資本公積及採用權益法之投資。惟若未按持股比例認購或取得致使對關聯企業之所有權權益減少者，於其他綜合損益中所認列與該關聯企業有關之金額按減少比例重分類，其會計處理之基礎係與關聯企業若直接處分相關資產或負債所必須遵循之基礎相同；前項調整如應借記資本公積，而採用權益法之投資所產生之資本公積餘額不足時，其差額借記保留盈餘。

合併公司於評估減損時，係將投資之整體帳面金額(含商譽)視為單一資產，比較可回收金額與帳面金額，進行減損測試，所認列之減損損失亦屬於投資帳面金額之一部分。減損損失之任何迴轉，於該投資之可回收金額後續增加之範圍內認列。

合併公司自其投資不再為關聯企業之日起停止採用權益法，其對原關聯企業之保留權益以公允價值衡量，該公允價值及處分價款與停止採用權益法當日之投資帳面金額之差額，列入當期損益。此外，於其他綜合損益中所認列與該關聯企業有關之所有金額，其會計處理之基礎係與關聯企業若直接處分相關資產或負債所必須遵循之基礎相同。

合併公司與關聯企業間之逆流、順流及側流交易所產生之損益，僅在與合併公司對關聯企業權益無關之範圍內，認列於合併財務報告。

(十三)<u>不動產、廠房及設備</u>

不動產、廠房及設備係按成本減除累計折舊及累計減損損失後之金額衡量。成本包括可直接歸屬於取得或建置資產之增額成本。

建造中之不動產、廠房及設備係以成本減除累計減損損失後之金額認列。該等資產於完工並達預期使用狀態時，分類至不動產、廠房及設備之適當類別並開始提列折舊。

自有土地不提列折舊。

合併公司採直線基礎提列折舊，即於資產預計耐用年限內平均分攤資產成本減除殘值後之餘額，並且至少於每一年度結束日對估計耐用年限、殘值及折舊方法進行檢視，並推延適用會計估計變動之影響。

除列不動產、廠房及設備時，淨處分價款與該資產帳面金額間差額，認列於當期損益。

(十四)租　　賃

合併公司於合約成立日評估合約是否係屬(或包含)租賃。

對於包含租賃及非租賃組成部分之合約，合併公司以相對單獨價格為基礎分攤合約中之對價並分別處理。

1.合併公司為承租人

除適用認列豁免之低價值標的資產租賃及短期租賃之租賃給付係按直線基礎於租賃期間內認列為費用，其他租賃皆於租賃開始日認列使用權資產及租賃負債。

使用權資產原始按成本(包含租賃負債之原始衡量金額、租賃開始日前支付之租賃給付減除收取之租賃誘因、原始直接成本及復原標的資產之估計成本)衡量，後續按成本減除累計折舊及累計減損損失後之金額衡量，並調整租賃負債之再衡量數。

使用權資產採直線基礎自租賃開始日起至耐用年限屆滿時或租賃期間屆滿時兩者之較早者提列折舊。若租賃期間屆滿時將取得標的資產所有權，或若使用權資產之成本反映購買選擇權之行使，則自租賃開始日起至標的資產耐用年限屆滿時提列折舊。

租賃負債原始按租賃給付之現值衡量。若租賃隱含利率容易確定，租賃給付使用該利率折現。若該利率並非容易確定，則使用承租人增額借款利率。

後續，租賃負債採有效利息法按攤銷後成本基礎衡量，且利息費用係於租賃期間分攤。若租賃期間動等情事導致未來租賃給付有變動，合併公司再衡量租賃負債，並相對調整使用權資產，惟若使用權資產之帳面金額已減至零，則剩餘之再衡量金額認列於損益中。租賃負債係單獨表達於合併資產負債表。

2.合併公司為出租人

當租賃條款係移轉附屬於資產所有權之幾乎所有風險與報酬予承租人，則將其分類為融資租賃。所有其他租賃則分類為營業租賃。

營業租賃下，租賃給付係按直線基礎於相關租賃期間內認列為收益。

(十五)商　譽

企業合併所取得之商譽係依收購日所認列之商譽金額作為成本，後續以成本減除累計減損損失後之金額衡量。

為減損測試之目的，商譽分攤至合併公司預期因該合併綜效而受益之各現金產生單位或現金產生單位群組(簡稱「現金產生單位」)。

受攤商譽之現金產生單位每年(及有跡象顯示該單位可能已減損時)藉由包含商譽之該單位帳面金額與其可回收金額之比較，進行該單位之減損測試。若分攤至現金產生單位之商譽係當年度企業合併所取得，則該單位應於當年度結束前進行減損測試。若受攤商譽之現金產生單位之可回收金額低於其帳面金額，減損損失係先減少該現金產生單位受攤商譽之帳面金額，次就該單位內其他各資產帳面金額之比例減少各該資產帳面金額。任何減損損失直接認列為當期損失。商譽減損損失不得於後續期間迴轉。

(十六)無形資產

1.單獨取得

單獨取得之有限耐用年限無形資產原始以成本衡量，後續係以成本減除累計攤銷及累計減損損失後之金額衡量。無形資產於耐用年限內按直線基礎進行攤銷，合併公司至少於每一年度結束日對估計耐用年限、殘值及攤銷方法進行檢視，並推延適用會計估計變動之影響。非確定耐用年限無形資產係以成本減除累計減損損失列報。

2.內部產生－研究及發展支出

合併公司研究階段之支出於發生時認列為費用，僅於符合規定條件時，始認列內部計畫發展階段之無形資產。

內部產生無形資產之成本係自符合規定條件之日起所發生之支出總和認列，後續係以成本減除累計攤銷及累計減損損失後之金額衡量。

3.企業合併所取得

企業合併所取得之無形資產係以收購日之公允價值認列，並與商譽分別認列，後續衡量方式與單獨取得之無形資產相同。

4.除列

無形資產除列時，淨處分價款與該資產帳面金額間之差額，認列於當期損益。

(十七)有形及無形資產之減損

合併公司於每一報導期間結束日評估是否有任何跡象顯示有形及無形資產(商譽除外)可能已減損。若有任一減損跡象存在，則估計該資產之可回收金額。倘無法估計個別資產之可回收金額，合併公司估計該資產所屬現金產生單位之可回收金額。若共用資產可依合理一致之基礎分攤至現金產生單位時，則分攤至個別之現金產生單位，反之，則分攤至可依合理一致之基礎分攤之最小現金產生單位群組。

可回收金額為公允價值減出售成本與其使用價值之較高者。個別資產或現金產生單位之可回收金額若低於其帳面金額時，將該資產或現金產生單位之帳面金額調減至其可回收金額，減損損失係認列於損益。

當減損損失於後續迴轉時，該資產或現金產生單位之帳面金額調增至修訂後之可回收金額，惟增加後之帳面金額以不超過該資產或現金產生單位若未於以前年度認列減損損失時所決定之帳面金額。減損損失之迴轉係認列於損益。

(十八)負債準備

合併公司因過去事件負有現時義務,且很有可能須清償該義務，並對該義務之金額能可靠估計時，認列負債準備。

認列為負債準備之金額係考量義務之風險及不確定性，而為報導期間結束日清償義務所須支出之最佳估計。若負債準備係以清償該現時義務之估計現金流量衡量，其帳面金額係為該等現金流量之現值。

(十九)員工福利

1.短期員工福利

短期員工福利相關負債係以換取員工服務而預期支付之非折現金額衡量。

2.退職後福利

確定提撥退休計畫之退休金係於員工提供服務期間將應提撥之退休金數額認列為費用。

確定福利退休計畫之確定福利成本(含服務成本、淨利息及再衡量數)係採預計單位福利法精算。服務成本及淨確定福利負債(資產)淨利息於發生時認列為員工福利費用。再衡量數於發生時認列於其他綜合損益並列入保留盈餘，後續期間不重分類至損益。

淨確定福利負債(資產)係確定福利退休計畫之提撥短絀(剩餘)。淨確定福利資產不得超過從該計畫退還提撥金或可減少未來提撥金之現值。

期中期間之退休金成本係採用前一年度結束日依精算決定之退休金成本率，以年初至當期末為基礎計算，並針對本期之重大市場波動，及重大計畫修正、清償或其他重大一次性事項加以調整。

3.其他長期員工福利

其他長期員工福利與確定福利退休計畫之會計處理相同，惟相關再衡量數係認列於損益。

4.離職福利

合併公司於不再能撤銷離職福利之要約或認列相關重組成本時(孰早者)認列離職福利負債。

(二十)收入認列

合併公司於客戶合約辨認履約義務後，將交易價格分攤至各履約義務，並於滿足各履約義務時認列收入。

移轉商品或勞務與收取對價之時間間隔在 1 年以內之合約，其重大財務組成部分不予調整交易價格。

1.商品銷售收入

合併公司於委外製造並銷售商品，於承諾之商品運送至客戶端且客戶取得其控制(即客戶主導該商品之使用並取得該商品之幾乎所有剩餘效益之能力)時認列收入。主要商品為記憶體模組、快閃記憶卡、隨機存取記憶體、磁碟容錯陣列及無線通訊產品，以合約敘明之價格為基礎認列收入。

去料加工時，加工產品所有權之控制並未移轉，是以去料時不認列收入。

合併公司提供之保固係基於所提供之商品會如客戶預期運作之保證，並依 IAS37 之規定辦理。

合併公司銷售商品交易之授信期間為30～90天，大部分合約於商品移轉控制且具有無條件收取對價之權利時，即認列應收帳款，該等應收帳款通常期間短且不具重大財務組成部分；然有部分合約，於移轉商品前先向客戶收取部分對價，合併公司需承擔須於後續移轉商品之義務，故認列為合約負債。

2.勞務收入

合併公司提供之勞務服務主要係按合約完成進度予以認列收入。

合併公司合約協議價款係依合約訂定之付款期間收取，當具有已移轉勞務予客戶惟仍未具無條件收取對價之權利時，即認列合約資產，合約資產另須依IFRS 9規定按存續期間預期信用損失金額衡量備抵減損。然有部分合約，由簽約時即先向客戶收取部分對價，合併公司承擔須於續後提供勞務之義務，故認列為合約負債。

合併公司前述合約負債轉列收入之期間通常不超過一年，並未導致重大財務組成部分之產生。

(二十一)所得稅

所得稅費用係當期所得稅及遞延所得稅之總和。

1.當期所得稅

當期所得稅根據合併公司營運及產生應課稅所得之所在國家，採用在報導期間結束已立法或已實質性立法之稅率計算。

期中期間之所得稅係以年度為基礎進行評估，期中期間之所得稅費用係以預期年度總盈餘所適用之稅率，就期中期間之稅前利益予以計算。

依所得稅法規定計算之未分配盈餘加徵稅額列為股東會決議年度之所得稅費用。

以前年度應付所得稅之調整，列入當期所得稅。

2.遞延所得稅

遞延所得稅係依帳載資產及負債帳面金額與計算課稅所得之課稅基礎二者所產生之暫時性差異予以認列。遞延所得稅負債一般係就所有應課稅暫時性差異予以認列，而遞延所得稅資產則於未來很有可能有課稅所得以供可減除暫時性差異、虧損扣抵或研究發展支出等所產生之所得稅抵減使用時認列。

與投資子公司及關聯企業相關之應課稅暫時性差異皆認列遞延所得稅負債，惟合併公司若可控制暫時性差異迴轉之時點，且該暫時性差異很有可能於可預見之未來不會迴轉者除外。與此類投資及權益有關之可減除暫時性差異所產生之遞延所得稅資產，僅於其很有可能有足夠課稅所得用以實現暫時性差異之利益，且於可預見之未來預期將迴轉的範圍內，予以認列。

遞延所得稅資產之帳面金額於每一報導期間結束日予以重新檢視，並針對已不再很有可能有足夠之課稅所得以供其回收所有或部分資產者，調減帳面金額。原未認列為遞延所得稅資產者，亦於每一報導期間結束日予以重新檢視，並在未來很有可能產生課稅所得以供其回收所有或部分資產者，調增帳面金額。

遞延所得稅資產及負債係以預期負債清償或資產現實當期之稅率衡量，該稅率係以報導期間結束日已立法或已實質性立法之稅率及稅法為基礎。遞延所得稅負債及資產之衡量係反映企業於報導期間結束日預期回收或清償其資產及負債帳面金額之方式所產生之租稅後果。

3.本年度之當期及遞延所得稅

當期及遞延所得稅係認列於損益，惟與認列於其他綜合損益或直接計入權益之項目相關之當期及遞延所得稅係分別認列於其他綜合損益或直接計入權益。

五、重大會計判斷、估計及假設不確定性之主要來源

合併公司於採用會計政策時，對於不易自其他來源取得相關資訊，管理階層必須基於歷史經驗及其他攸關之因素作出相關之判斷、估計及假設，實際結果可能與估計有所不同。

合併公司將新型冠狀病毒疫情造成之經濟影響，納入重大會計估計之考量，管理階層將持續檢視估計與基本假設。若估計之修正僅影響當期，則於會計估計修正當期認列。若會計估計之修正同時影響當期及未來期間，則於估計修正當期及未來期間認列。

合併公司重大會計判斷、估計及假設不確定之主要來源如下:

1.有形資產及無形資產(商譽除外)減損評估

資產減損評估過程中，合併公司需依賴主觀判斷並依據資產使用模式及產業特性，決定特定資產群組之獨立現金流量、資產耐用年數及未來可能產生之收益與費損，任何由於經濟狀況之變遷或公司策略所帶來之估計改變均可能在未來造成重大減損或迴轉已認列之減損損失。

2.存貨之評價

由於存貨須以成本與淨變現價值孰低者計價，故合併公司必須運用判斷及估計決定財務報導期間結束日存貨之淨變現價值。

由於科技快速變遷，合併公司評估財務報導期間結束日存貨因正常損耗、過時陳舊或無市場銷售價值之金額，並將存貨成本沖減至淨變現價值。此存貨評價主要係依未來特定期間內之產品需求為估計基礎，故可能產生重大變動。

3.商譽減損評估

決定商譽是否減損時，須估計分攤到到商譽之現金產生單位之使用價值。為計算使用價值，管理階層應估計預期自現金產生單位所產生之未來現金流量，並決定計算現值所使用之適當折現率。若實際現金流量少於預期，可能會產生重大減損損失。

4.取得子公司

合併公司取得子公司後須辨識投資成本所享有子公司可辨認資產及負債之淨公允價值份額間差額，其中，可辨認資產及負債淨公允價值之評價涉及重大會計判斷及估計，包含判斷可能產生無形資產之類型及估計該等無形資產未來可能產生之營運現金流量或節省之費用支出。合併公司管理階層評估所採用之判斷、估計及假設仍可能受到未來通訊產業景氣之影響而具有不確定性。

六、重要會計項目之說明

(一)現金及約當現金

	109.09.30	108.12.31	108.09.30
庫存現金及週轉金	$ 150	$ 130	$ 130
銀行支票及活期存款	161,002	225,815	184,284
定期存款	83,500	59,960	62,080
	$ 244,652	$ 285,905	$ 246,494

截至民國109年9月30日暨108年12月31日及9月30日止，上列銀行存款未有提供擔保質押等用途受限制之情形。

(二)透過損益按公允價值衡量之金融工具－流動

	109.09.30	108.12.31	108.09.30
強制透過損益按公允價值衡量之金融資產			
國內上市(櫃)股票	$ 7,346	$ －	$ －

截至民國109年9月30日暨108年12月31日及9月30日止，上列透過損益按公允價值衡量之金融資產未有提供擔保質押等用途受限制之情形。

(三)透過其他綜合損益按公允價值衡量之金融資產

	109.09.30	108.12.31	108.09.30
權益工具投資－非流動			
國內未上市(櫃)股票	$ 6,390	$ 38,199	$ 37,646

1. 合併公司依中長期策略目的投資上列公司普通股，並預期透過長期投資獲利。合併公司管理階層認為若將該等投資之短期公允價值波動列入損益，與前述長期投資規劃並不一致，因此選擇指定該等投資為透過其他綜合損益按公允價值衡量。
2. 合併公司於民國109年7月17日參與展連科技現金增資，取得23.23%股權，加計先前已持有15.05%股權，累計持股比例達38.28%並取得對展連科技之控制，故自該日起將展連科技併入合併個體，其按公允價值再衡量之其他綜合損益計 2,324 仟元則轉入保留盈餘，請詳附註六(二十)之說明。
3. 截至民國109年9月30日暨108年12月31日及9月30日止，上列透過其他綜合損益按公允價值衡量之金融資產未有提供擔保質押等用途受限制之情形。

(四)按攤銷後成本衡量之金融資產－流動

	109.09.30	108.12.31	108.09.30
原始到期日超過三個月之定期存款	$ 64,330	$ 66,888	$ 69,912
利率區間	0.41%～0.52%	0.77%～0.78%	0.77%～0.78%

截至民國109年9月30日暨108年12月31日及9月30日止，上列按攤銷後成本衡量之金融資產未有提供擔保質押等用途受限制之情形。

(五)應收票據、應收帳款及其他應收款

	109.09.30	108.12.31	108.09.30
應收票據			
應收票據－因營業而發生	$ 2,716	$ 5,256	$ 530
應收票據－非因營業而發生	－	－	－
減：備抵呆帳	－	－	－
	$ 2,716	$ 5,256	$ 530

	109.09.30	108.12.31	108.09.30
應收帳款			
應收帳款	$ 50,636	$ 28,106	$ 59,119
減：備抵呆帳	—	—	—
	$ 50,636	$ 28,106	$ 59,119
其他應收款－流動			
應收利息及應收退稅款等	$ 1,169	$ 105	$ 872
減：備抵呆帳	—	—	—
	$ 1,169	$ 105	$ 872

1. 合併公司採用 IFRS 9 之簡化作法按存續期間預期信用損失認列應收帳款之備抵損失。存續期間預期信用損失係使用準備矩陣計算，其考量客戶過去違約紀錄、現時財務狀況及產業經濟情勢。因合併公司之信用損失歷史經驗顯示，不同客戶群之損失型態並無顯著差異，因此準備矩陣未進一步區分客戶群，僅以應收帳款逾期天數訂定預期信用損失率。

2. 合併公司依準備矩陣衡量應收帳款及其他應收款之備抵損失

	109.09.30					
	未逾期	逾期1~90天	逾期91~180天	逾期181~270天	逾期超過270天	合計
總帳面金額	$ 50,989	$ 816	$ —	$ —	$ —	$ 51,805
預期信用損失率	0%	0%	0%	0%	100%	
備抵損失(存續期間預期信用損失)	—	—	—	—	—	—
攤銷後成本	$ 50,989	$ 816	$ —	$ —	$ —	$ 51,805

	108.12.31					
	未逾期	逾期1~90天	逾期91~180天	逾期181~270天	逾期超過270天	合計
總帳面金額	$ 27,841	$ 370	$ —	$ —	$ —	$ 28,211
預期信用損失率	0%	0%	0%	0%	100%	
備抵損失(存續期間預期信用損失)	—	—	—	—	—	—
攤銷後成本	$ 27,841	$ 370	$ —	$ —	$ —	$ 28,211

	108.09.30					
	未逾期	逾期1~90天	逾期91~180天	逾期181~270天	逾期超過270天	合計
總帳面金額	$ 56,434	$ 3,557	$ —	$ —	$ —	$ 59,991
預期信用損失率	0%	0%	0%	0%	100%	
備抵損失(存續期間預期信用損失)	—	—	—	—	—	—
攤銷後成本	$ 56,434	$ 3,557	$ —	$ —	$ —	$ 59,991

3.截至民國109年9月30日暨108年12月31日及9月30日止，上列應收票據及帳款未有提供擔保質押等用途受限制之情形。

(六)存　　貨

	109.09.30	108.12.31	108.09.30
商　　品	$ 29,523	$ 10,691	$ 11,196
製　成　品	129,094	170,189	170,964
半　成　品	47,250	19,132	20,819
在　製　品	3,024	2,694	3,337
原　　料	141,201	130,270	131,110
小　　計	350,092	332,976	337,426
減:備抵存貨跌價及呆滯損失	(227,546)	(305,023)	(305,036)
淨　　額	$ 122,546	$ 27,953	$ 32,390

1.當期認列為銷貨成本之存貨相關損益如下：

	109年7月至9月	108年7月至9月	109年1月至9月	108年1月至9月
存貨出售成本	$ 162,677	$ 419,872	$ 366,816	$ 840,643
存貨跌價及呆滯損失(跌價回升利益)	(61,377)	6,354	(89,105)	18,293
	$ 101,300	$ 426,226	$ 277,711	$ 858,936

2.截至民國109年9月30日暨108年12月31日及9月30日止，上列存貨淨額未有提供擔保質押等用途受限制之情形。

(七)採用權益法之投資

	109.09.30	108.12.31	108.09.30
投資關聯企業	$ 10,180	$ 6,212	$ 8,554

合併公司之關聯企業列示如下：

	109.09.30		108.12.31		108.09.30	
被投資公司名稱	帳面金額	持股比例	帳面金額	持股比例	帳面金額	持股比例
前瞻能源科技(股)公司	$ 10,180	18.22%	$ 6,212	15.75%	$ 8,554	15.75%

1.截至民國109年9月30日止，合併公司對前瞻能源之持股比例為18.22%，合併公司對前瞻能源之持股比例雖未達20%，惟合併公司對該公司具重大影響力，故採權益法評價。

2.有關合併公司之關聯企業彙總性財務資訊如下：

	109.09.30	108.12.31	108.09.30
總資產	$ 97,970	$ 63,576	$ 71,855
總負債	$ 42,084	$ 24,131	$ 17,542

	109年7月至9月	108年7月至9月	109年1月至9月	108年1月至9月
本年度營業收入	$ 1,307	$ 4,091	$ 5,724	$ 14,979
本年度淨損	$ (15,693)	$ (14,852)	$ (43,559)	$ (41,760)
本年度其他綜合損益	$ —	$ —	$ —	$ —

3. 民國109年及108年1月至9月採用權益法之關聯企業之損益及其他綜合損益份額，係依據各關聯企業同期間經會計師核閱之財務報表認列。

4. 截至民國109年9月30日暨108年12月31日及9月30日止，上列採用權益法之投資未有提供擔保質押等用途受限制之情形。

(八)不動產、廠房及設備

	109.09.30	108.12.31	108.09.30
自　用	$ 286,906	$ 263,626	$ 271,522
營業租賃出租	13,565	38,611	38,663
	$ 300,471	$ 302,237	$ 310,185

1. 自用

	土地	建築物	機器設備	租賃改良成本	辦公設備	其他設備	合計
成本及重估增值							
109.01.01餘額	$ 181,225	$ 83,264	$ 22,430	$ 12,076	$ 3,455	$ 2,647	$ 305,097
增添	—	—	960	—	111	346	1,417
處分	—	—	—	—	(1,216)	—	(1,216)
來自營業租賃出租之資產	20,917	6,887	—	—	—	—	27,804
由企業合併取得	—	—	1,920	—	—	4,383	6,303
109.09.30餘額	$ 202,142	$ 90,151	$ 25,310	$ 12,076	$ 2,350	$ 7,376	$ 339,405
108.01.01餘額	$ 217,351	$ 103,053	$ 17,964	$ 12,076	$ 6,099	$ 2,586	$ 359,129
追溯適用IFRS16之影響數	(32,317)	(10,640)	—	—	—	—	(42,957)
108.01.01追溯後餘額	185,034	92,413	17,964	12,076	6,099	2,586	316,172
增添	—	—	4,691	—	—	308	4,999
處分	—	—	—	—	(1,323)	(247)	(1,570)
淨兌換差額	41	97	—	—	—	—	138
108.09.30餘額	$ 185,075	$ 92,510	$ 22,655	$ 12,076	$ 4,776	$ 2,647	$ 319,739

	土　地	建　築　物	機器設備	租賃改良成本	辦公設備	其他設備	合　計
累計折舊/減損							
109.01.01 餘額	$ —	$ 31,410	$ 2,913	$ 3,806	$ 2,543	$ 799	$ 41,471
折舊費用	—	1,724	2,206	1,812	206	680	6,628
處分	—	—	—	—	(1,216)	—	(1,216)
來自營業租賃出租之資產	—	2,892	—	—	—	—	2,892
由企業合併取得	—	—	1,683	—	—	1,041	2,724
109.09.30 餘額	$ —	$ 36,026	$ 6,802	$ 5,618	$ 1,533	$ 2,520	$ 52,499
108.01.01 餘額	$ —	$ 40,162	$ 928	$ 1,391	$ 4,534	$ 521	$ 47,536
追溯適用IFRS16之影響數	—	(4,138)	—	—	—	—	(4,138)
108.01.01追溯後餘額	—	36,024	928	1,391	4,534	521	43,398
折舊費用	—	2,057	1,532	1,812	523	392	6,316
處分	—	—	—	—	(1,323)	(247)	(1,570)
淨兌換差額	—	73	—	—	—	—	73
108.09.30 餘額	$ —	$ 38,154	$ 2,460	$ 3,203	$ 3,734	$ 666	$ 48,217

2. 營業租賃出租

	土　地	建築物	合　計
成本及重估增值			
109.01.01 餘額	$ 32,317	$ 10,640	$ 42,957
增添	—	—	—
處分	—	—	—
轉列為自用資產	(20,917)	(6,887)	(27,804)
109.09.30 餘額	$ 11,400	$ 3,753	$ 15,153
108.01.01 餘額	$ —	$ —	$ —
追溯適用 IFRS16 之影響數	32,317	10,640	42,957
108.01.01 追溯後餘額	32,317	10,640	42,957
108.09.30 餘額	$ 32,317	$ 10,640	$ 42,957
累計折舊及減損			
109.01.01 餘額	$ —	$ 4,346	$ 4,346
折舊費用	—	134	134
處分	—	—	—
轉列為自用資產	—	(2,892)	(2,892)
109.09.30 餘額	$ —	$ 1,588	$ 1,588
108.01.01 餘額	$ —	$ —	$ —
追溯適用 IFRS16 之影響數	—	4,138	4,138
108.01.01 追溯後餘額	—	4,138	4,138
折舊費用	—	156	156
處分	—	—	—
108.09.30 餘額	$ —	$ 4,294	$ 4,294

合併公司以營業租賃出租土地及建築物,租賃期間為2～3年,承租人於租賃期間結束時,對該等資產不具有優惠承購。

營業租賃出租自有不動產、廠房及設備之未來將收取之租賃給付總額如下:

	109.09.30	108.12.31	108.09.30
第1年	$ 1,116	$ 2,195	$ 2,657
第2年	930	1,116	1,116
第3年	—	651	930
	$ 2,046	$ 3,962	$ 4,703

3. 合併公司之不動產、廠房及設備係以直線基礎按下列耐用年數計提折舊:

建築物	5～50年
機器設備	2～10年
租賃改良成本	5年
辦公設備	2～10年
其他設備	2～8年

4. 截至民國109年9月30日暨108年12月31日及9月30日止,合併公司提供土地及建築物作為借款抵押擔保之情形,請詳附註六(十一)及八。

(九)使用權資產

1. 使用權資產

	109.09.30	108.12.31	108.09.30
使用權資產帳面金額			
建築物	$ 7,248	$ 9,213	$ 9,922
運輸設備	910	2,174	2,718
	$ 8,158	$ 11,387	$ 12,640

	建築物	運輸設備	合計
成本			
109.01.01餘額	$ 12,048	$ 3,859	$ 15,907
合併取得	3,554	—	3,554
增添	—	—	—
處分	—	—	—
109.09.30餘額	$ 15,602	$ 3,859	$ 19,461
108.01.01餘額	$ —	$ —	$ —
追溯適用IFRS16之影響數	12,048	5,799	17,847
增添	—	—	—
處分	—	(1,817)	(1,817)
淨兌換差額	—	—	—
108.09.30餘額	$ 12,048	$ 3,982	$ 16,030

	建 築 物	運輸設備	合 計
累計折舊及減損			
109.01.01 餘額	$ 2,835	$ 1,685	$ 4,520
合 併 取 得	2,908	—	2,908
折 舊 費 用	2,611	1,264	3,875
處 分	—	—	—
109.09.30 餘額	$ 8,354	$ 2,949	$ 11,303
108.01.01 餘額	$ —	$ —	$ —
折 舊 費 用	2,126	1,640	3,766
處 分	—	(376)	(376)
淨兌換差額	—	—	—
108.09.30 餘額	$ 2,126	$ 1,264	$ 3,390

2. 租賃負債

	109.09.30	108.12.31	108.09.30
租賃負債帳面金額			
流 動	$ 3,905	$ 4,467	$ 4,455
非 流 動	4,407	7,060	8,302
	$ 8,312	$ 11,527	$ 12,757

租賃負債之折現率區間如下：

	109.09.30	108.12.31	108.09.30
建 築 物	2.62%	2.62%	2.62%
運輸設備	1.84%～2.62%	1.84%～2.62%	1.84%～2.62%

3. 重要承租活動及條款

合併公司承租若干建築物及運輸設備做為廠房及辦公使用，租賃期間為 2 年至 5 年。於租賃期間終止時，合併公司對所租賃之建築物及運輸設備並無優惠承購權。

民國 109 年因新型冠狀病毒肺炎疫情嚴重影響市場經濟，合併公司與出租人進行辦公室租約協商，出租人同意無條件減免民國 109 年 3 月 1 日至 8 月 31 日之租金。合併公司已於民國 109 年度前三季認列前述租金減讓之影響數並帳列「其他收入」項下。

4. 其他承租租賃資訊

	109年7月至9月	108年7月至9月	109年1月至9月	108年1月至9月
低價值資產租賃費用	$ 443	$ 202	$ 858	$ 613
租賃之現金(流出)總額	$ (2,088)	$ (1,299)	$ (4,732)	$ (4,252)

合併公司選擇對符合短期租賃及符合低價值資產租賃適用認列之豁免，不對該等租賃認列相關使用權資產及租賃負債。

(十)無形資產

	商　譽	客戶關係	合　計
成　　本			
109.01.01	$ —	$ —	$ —
增添－企業合併取得(註)	19,800	9,106	28,906
處分及重分類	—	—	—
109.09.30	$ 19,800	$ 9,106	$ 28,906
累計攤提及減損			
109.01.01	$ —	$ —	$ —
攤銷費用	—	200	200
處分及重分類	—	—	—
109.09.30	$ —	$ 200	$ 200

註:係合併公司收購展連科技股權所產生之商譽及客戶關係，請詳附註六(二十)之說明。

1. 合併公司之無形資產攤提年限如下：客戶關係為 9.45 年。
2. 合併公司於年度財務報導結束日對商譽之可回收金額進行減損評估，並以使用價值作為可回收金額之計算基礎。使用價值之計算，係管理階層根據未來現金流量並使用適當之折現率衡量可回收金額，作為評估是否減損之依據，並每年定期對商譽所屬現金產生之單位進行減損測試。

(十一)短期借款

1. 截至民國 109 年 9 月 30 日暨 108 年 12 月 31 日及 9 月 30 日止，合併公司帳列均無「短期借款」。
2. 合併公司於民國 109 年 9 月 30 日暨 108 年 12 月 31 日及 9 月 30 日止，提供資產作為借款擔保抵押之情形，請詳附註六(八)及八。
3. 截至民國 109 年 9 月 30 日暨 108 年 12 月 31 日及 9 月 30 日止，金融機構授予合併公司借款額度尚未動支者均為 180,000 仟元。

(十二)其他應付款

	109.09.30	108.12.31	108.09.30
應付薪資及獎金	$ 14,264	$ 10,526	$ 9,405
應付勞務費	3,422	3,298	3,623
其他	4,819	3,076	3,555
	$ 22,505	$ 16,900	$ 16,583

(十三)退職後福利計劃

1.確定提撥計畫

合併公司之本公司適用「勞工退休金條例」之退休金制度，係屬政府管理之確定提撥退休計畫，依員工每月薪資 6%提撥退休金至勞工保險局之個人專戶。

合併公司於民國 109 年及 108 年 7 月至 9 月及民國 109 年及 108 年 1 月至 9 月依照確定提撥計畫中明定比例應提撥之金額已於合併綜合損益表認列費用總額分別為 977 仟元及 691 仟元、2,290 仟元及 2,153 仟元。截至民國 109 年及 108 年 9 月 30 日止，尚未支付予計畫之已到期提撥金額分別為 756 仟元及 686 仟元。該等金額均已於資產負債表日後支付。

2.確定福利計畫

本公司部份員工適用我國「勞動基準法」之退休金制度，係屬確定福利退休計畫。員工退休金之支付，係根據服務年資及核准退休日前六個月平均工資計算。本公司按員工每月薪資總額 4%提撥員工退休基金，交由勞工退休準備金監督委員會以該委員會名義存入台灣銀行之專戶，年度終了前，若估算專戶餘額不足給付次一年度內預估達到退休條件之勞工，次年度 3 月底前將一次提撥其差額。該專戶由中央主管機關擬定之機關管理，故本公司無權參與退休基金運用。

本公司預期於民國 109 年 9 月 30 日以後一年內對確定福利計畫提撥為 0 仟元。

(十四)權　益

1.普通股股本

	109.09.30	108.12.31	108.09.30
額定股數(仟股)	150,000	150,000	150,000
額定股本	$ 1,500,000	$ 1,500,000	$ 1,500,000
已發行且已收足股款之股數(仟股)	91,628.8	91,628.8	91,628.8
已發行股本	$ 916,288	$ 916,288	$ 916,288

已發行之普通股每股面額為 10 元，每股享有一表決權及收取股利之權利。

2.保留盈餘及股利政策

依本公司章程之盈餘分配政策規定，本公司年度結算如有盈餘，除依法提繳稅款及彌補以往年度虧損外，應先提撥百分之十

為法定盈餘公積，但法定盈餘公積已達本公司實收資本額時不在此限，必要時依法提列或迴轉特別盈餘公積，如尚有餘額，併加計前期累積未分配盈餘後，除得保留部份盈餘於以後年度另行決議分派外，由董事會依公司股利政策擬具盈餘分配議案，提報股東會決議後分派之。

本公司考量公司所處環境及成長階段，因應未來資金需求及長期財務規劃，並滿足股東對現金流入之需求，就可分配盈餘提撥百分之五十以上分派股東股利，其中現金股利不得低於股利總額之百分之二十。

本公司自民國 96 年 6 月 13 日起已無監察人，原監察人職務由審計委員會執行。

依公司法之規定，法定盈餘公積應提撥至其餘額達實收股本總額為止。法定盈餘公積得用以彌補虧損，公司無虧損時，法定盈餘公積超過實收股本總額百分之二十五之部份除得撥充股本外，尚得以現金分配。

本公司於分配盈餘時，必須依法令規定就其他權益項目減項淨額（如國外營運機構財務報表換算之兌換差額、備供出售金融資產未實現損益、現金流量避險中屬有效避險部分之避險工具利益及損失等累計餘額）提列特別盈餘公積。嗣後其他權益項目減項金額如有減少，可就減少金額自特別盈餘公積轉回未分配盈餘。

民國 108 年及 107 年度均處於累積虧損狀態，故均無須揭露每股股利資訊。

有關本公司董事會通過及股東會決議盈餘分配情形，可自公開資訊觀測站等網站查詢。

3. 其他權益項目

(1)國外營運機構財務報表換算之兌換差額

	109年1月至9月	108年1月至9月
期初餘額	$ 225	$ 723
換算國外營運機構淨資產所產生之兌換差額	(43)	111
處分國外營運機構	(1,489)	—
換算國外營運機構淨資產所產生之兌換差額之相關所得稅	1,307	(22)
期末餘額	$ —	$ 812

國外營運機構淨資產自功能性貨幣換算為合併公司表達貨幣所產生之相關兌換差額，係直接認列為其他綜合損益項下之國外營運機構財務報表換算之兌換差額。先前累計於國外營運機構財務報表換算之兌換差額，於處分國外營運機構時，重分類至損益。

(2)透過其他綜合損益按公允價值衡量之金融資產未實現損益

	109年1月至9月	108年1月至9月
期初餘額	$ (3,631)	$ (1,724)
透過其他綜合損益按公允價值衡量之金融資產未實現損失	(2,655)	(2,460)
處分權益工具累計損益移轉至保留盈餘	(2,324)	—
期末餘額	$ (8,610)	$ (4,184)

透過其他綜合損益按公允價值衡量之權益工具投資係按公允價值衡量，後續公允價值變動列報於其他綜合損益，並累計於其他權益中。於投資處分時，累計損益直接移轉至保留盈餘，不重分類至損益。

4.非控制權益

	109年1月至9月	108年1月至9月
期初餘額	$ 1,413	$ 1,765
取得非控制權益	72,955	—
歸屬予非控制權益之份額：		
本年度淨損	(5,751)	(265)
期末餘額	$ 68,617	$ 1,500

(十五)收　入

	109年7月至9月	108年7月至9月	109年1月至9月	108年1月至9月
客戶合約收入				
商品銷售收入	$ 112,684	$ 430,929	$ 310,037	$ 859,285
勞務提供收入	1,963	781	4,563	3,294
	$ 114,647	$ 431,710	$ 314,600	$ 862,579

民國109年及108年1月至9月與客戶合約之收入相關資訊如下：

1.收入細分：

合併公司之收入可依主要產品別及地區別予以細分，其相關資訊請詳附註十四。另依收入認列時點之細分明細如下：

	109年1月至9月	108年1月至9月
收入認列時點		
於某一時點	$ 310,037	$ 859,285
隨時間逐步滿足	4,563	3,294
	$ 314,600	$ 862,579

2.合約餘額：

	109.09.30	108.12.31	108.09.30
合約負債－流動			
銷售商品	$ 1,636	$ 934	$ 347

合約負債之變動主要係來自滿足履約義務之時點與客戶付款時點之差異。

來自年初合約負債於民國109年及108年1月至9月認列為收入之金額分別為613仟元及481仟元。

3.分攤至尚未履行之義務之交易價格：

截至民國109年及108年9月30日止，合併公司銷售商品及提供勞務之客戶合約皆短於一年，無須提供尚未履行之履約義務相關資訊。

4.自取得或履行客戶合約之成本中所認列之資產：無。

(十六)費用性質之額外資訊

合併公司於民國109年9月30日暨108年12月31日及9月30日，員工人數分別為100人、75人及75人，其中未兼任員工之董事人數均為5人。

合併公司當期淨損係包含以下項目：

	109年7月至9月			108年7月至9月		
性質別	屬於營業成本者	屬於營業費用者	合計	屬於營業成本者	屬於營業費用者	合計
員工福利費用						
薪資費用	$ 2,523	$ 18,169	$ 20,692	$ 2,011	$ 12,414	$ 14,425
勞健保費用	253	1,409	1,662	214	937	1,151
退休後福利						
確定提撥計畫	129	848	977	109	582	691
確定福利計畫	—	—	—	—	—	—
董事酬勞	—	140	140	—	128	128
其他用人費用	140	666	806	180	644	824
	$ 3,045	$ 21,232	$ 24,277	$ 2,514	$ 14,705	$ 17,219
折舊費用	$ 333	$ 3,774	$ 4,107	$ 243	$ 3,154	$ 3,397
攤銷費用	$ —	$ 200	$ 200	$ —	$ —	$ —

性質別	109年1月至9月			108年1月至9月		
	屬於營業成本者	屬於營業費用者	合計	屬於營業成本者	屬於營業費用者	合計
員工福利費用						
薪資費用	$ 6,629	$ 40,778	$ 47,407	$ 6,622	$ 38,864	$ 45,486
勞健保費用	702	3,250	3,952	700	3,021	3,721
退休後福利						
確定提撥計畫	348	1,942	2,290	343	1,810	2,153
確定福利計畫	—	—	—	—	—	—
董事酬勞	—	360	360	—	352	352
其他用人費用	350	1,379	1,729	460	1,572	2,032
	$ 8,029	$ 47,709	$ 55,738	$ 8,125	$ 45,619	$ 53,744
折舊費用	$ 737	$ 9,900	$ 10,637	$ 728	$ 9,510	$ 10,238
攤銷費用	$ —	$ 200	$ 200	$ —	$ —	$ —

依公司法及公司章程規定，本公司年度如有獲利，應提撥5%至15%為員工酬勞及不高於2%為董事酬勞；員工酬勞發給股票或現金之對象得包括符合一定條件之從屬公司員工，該一定條件由董事會訂定之。但公司尚有累積虧損時，應預先保留彌補數額，再依前項比例提撥員工酬勞及董事酬勞。

本公司民國109年及108年度前3季均處於累積虧損狀態，尚待彌補，故不予估列員工及董事酬勞。

年度合併財務報告通過發布日前經董事會決議之發放金額有重大變動時，該變動調整原提列年度費用，年度合併財務報告通過發布日後若金額仍有變動，則依會計估計變動處理，於次一年度調整入帳。

有關本公司董事會通過及股東會決議之員工酬勞及董事酬勞相關資訊，可自公開資訊觀測站等網站查詢。

(十七)其他利益及損失

	109年7月至9月	108年7月至9月	109年1月至9月	108年1月至9月
其他利益				
租金收入	$ 445	$ 963	$ 1,973	$ 2,897
透過損益按公允價值衡量之金融資產之淨利益	1,124	—	1,936	—
兌換利益淨額	—	187	—	1,375
其他收入	2,074	280	5,292	442
	3,643	1,430	9,201	4,714
其他損失				
兌換損失淨額	(1,664)	—	(1,487)	—
其他支出	—	(2)	—	(509)
	(1,664)	(2)	(1,487)	(509)
	$ 1,979	$ 1,428	$ 7,714	$ 4,205

合併公司於民國 109 年度向經濟部工業局申請「製造業及其技術服務業受嚴重特殊傳染性肺炎影響之艱困事業薪資及營運資金補貼案」補助，業分別經經濟部工業局工知字第 10900675370 號及工知字第10900570330號函核准在案，上述補助金額共計4,207仟元，業已全數核撥並帳列「其他收入」項下。

(十八)所 得 稅

1.認列於損益之所得稅：

(1)所得稅費用之主要組成項目如下：

	109年7月至9月	108年7月至9月	109年1月至9月	108年1月至9月
遞延所得稅				
暫時性差異之產生及迴轉	$ (22)	$ (45)	$ 174	$ (183)
所得稅抵減與虧損扣抵	2,428	3,735	9,714	10,253
認列於損益之所得稅費用	$ 2,406	$ 3,690	$ 9,888	$ 10,070

(2)認列於其他綜合損益之所得稅：

	109年7月至9月	108年7月至9月	109年1月至9月	108年1月至9月
遞延所得稅				
國外營運機構換算	$ —	$ (1)	$ (1,307)	$ 22

2.稅前淨損與認列於損益之所得稅費用調節如下：

	109年7月至9月	108年7月至9月	109年1月至9月	108年1月至9月
依稅前淨損計算之所得稅費用	$ (6,095)	$ (13,034)	$ (12,497)	$ (18,880)
永久性差異	(225)	—	(387)	—
虧損扣抵以後年度	24,030	13,784	43,194	20,286
採權益法認列之投資損失(利益)	(3,028)	1,669	(2,601)	5,005
存貨跌價及呆滯損失(跌價回升利益)	(12,276)	1,271	(17,821)	3,659
認列於損益之所得稅費用	$ 2,406	$ 3,690	$ 9,888	$ 10,070

3.當年度所得稅資產：

	109.09.30	108.12.31	108.09.30
本期所得稅資產			
應收退稅款	$ 203	$ 324	$ 276

4.遞延所得稅：

合併公司將若干符合互抵條件之遞延所得稅資產及負債予以互抵。合併資產負債表中之遞延所得稅資產及負債分析如下：

民國109年1月至9月	期初餘額	合併取得	認列於損益	認列於其他綜合損益	期末餘額
遞延所得稅資產					
虧損扣抵以後年度	$ 24,284	$ —	$ (9,714)	$ —	$ 14,570
未實現兌換損失	382	29	(174)	—	237
小計	24,666	29	(9,888)	—	14,807
遞延所得稅負債					
確定福利精算損益	(1,405)	—	—	—	(1,405)
換算國外營運機構淨資產之兌換差額	(1,307)	—	—	1,307	—
小計	(2,712)	—	—	1,307	(1,405)
淨額	$ 21,954	$ 29	$ (9,888)	$ 1,307	$ 13,402

民國108年1月至9月	期初餘額	合併取得	認列於損益	認列於其他綜合損益	期末餘額
遞延所得稅資產					
虧損扣抵以後年度	$ 35,759	$ —	$ (10,253)	$ —	$ 25,506
未實現兌換損失	65	—	183	—	248
小計	35,824	—	(10,070)	—	25,754
遞延所得稅負債					
確定福利精算損益	(1,238)	—	—	—	(1,238)
換算國外營運機構淨資產之兌換差額	(1,431)	—	—	(22)	(1,453)
小計	(2,669)	—	—	(22)	(2,691)
淨額	$ 33,155	$ —	$ (10,070)	$ (22)	$ 23,063

5.投資抵減、虧損扣抵及免稅相關資訊：

截至民國109年9月30日止，本公司無可使用投資抵減金額。

虧損扣抵相關資訊如下：

尚未扣抵餘額	最後扣抵年度
$ 962,861	民國119年度

6.所得稅核定情形

截至民國109年9月30日止，本公司之營利事業所得稅結算申報經稅捐稽徵機關核定至民國107年度。

(十九)每股盈餘

	109年7月至9月	108年7月至9月	109年1月至9月	108年1月至9月
基本每股盈餘	$ (0.21)	$ (0.27)	$ (0.51)	$ (0.94)

用以計算基本每股盈餘之盈餘及普通股加權平均股數如下：

	109年7月至9月	108年7月至9月	109年1月至9月	108年1月至9月
歸屬於母公司業主之淨損	$ (19,670)	$ (24,402)	$ (46,958)	$ (85,908)
用以計算每股盈餘之普通股加權平均股數(仟股)	91,629	91,629	91,629	91,629

(二十)企業合併

1.收購子公司

合併公司原持有展連科技 15.05%股權，帳列「透過其他綜合損益按公允價值衡量之金融資產」項下。合併公司於民國 109 年 7 月 17 日參與展連科技現金增資取得 23.23%股權，增資後累計持股比例達 38.28%並取得對展連科技之控制，故自該日起將展連科技併入合併個體中。合併公司預期收購後將可有效整合資源、透過產品多角化之經營以提升整體營運績效。

2.移轉對價

	109 年 7 月 17 日
收購對價	
現　　金	$ 45,000
先前已持有展連科技之權益於收購日之公允價值	29,154
	$ 74,154

合併公司於企業合併前已持有展連科技 15.05%權益，依公允價值再衡量而認列之其他綜合損益計 2,324 仟元。

收購相關成本已予排除於移轉對價外，並認列為收購當年度之費用。

3.收購日取得之資產及承擔之負債

	109 年 7 月 17 日
取得可辨認資產及承擔負債之公允價值	
現　　金	$ 62,566
應收帳款淨額－非關係人	11,990
其他應收款	62
存　　貨	74,735
預付款項	7,883
不動產、廠房及設備	3,579
使用權資產	646
其他無形資產	9,106
遞延所得稅資產	29
其他非流動資產	9,836
應付票據－非關係人	(468)
應付帳款－非關係人	(6,453)
租賃負債－非關係人	(659)
其他應付款	(5,787)
合約負債	(1,168)
其他流動負債	(88)
股東往來	(38,500)
可辨認淨資產總額	$ 127,309

4.非控制權益

展連科技之非控制權益(61.72%之所有權權益)係按被收購者可辨認淨資產按非控制權益所享有之份額衡量。

5.因收購產生之商譽

	109年7月17日
移轉對價	$ 74,154
加：非控制權益(展連科技之61.72%所有權益)	72,955
減：所取得可辨認淨資產之公允價值	(127,309)
因收購產生之商譽	$ 19,800

收購所產生之商譽，主要係來自控制溢價。此外，合併所支付之對價係已含預期產生之收入成長及未來市場發展。惟該等效益不符合可辨認無形資產之認列條件，故不單獨認列。

因合併所產生之商譽，預期不可作為課稅減除項目。

6.取得子公司之淨現金流出(入)

	109年1月至9月
收購對價－現金	$ 45,000
減：取得之現金及約當現金餘額	(62,566)
	$ (17,566)

7.企業合併對經營成果之影響

(1)自收購日起，來自被收購公司之經營成果如下:

	營業收入	本年度淨損
展連科技	$ 5,754	$ (8,931)

(2)倘該展連科技合併係發生於收購日所屬之會計年度開始日，民國109年1月至9月合併公司擬制營業收入為334,246仟元，擬制淨損為57,422仟元。該等金額無法反映若企業合併於收購當年度開始日完成時，合併公司實際可產生之收入及營運結果，亦不應作為預測未來營運結果之用。

七、關係人交易

本公司及子公司(係本公司之關係人)間之餘額及交易金額,於編製合併財務報表時已予以銷除，並未揭露於本附註。合併公司與其他關係人間交易明細揭露如下。

(一)關係人名稱與其關係

關係人名稱	與本公司之關係
躍利投資有限公司(以下簡稱躍利投資)	本公司之董事
全體董事、監察人、總經理及副總經理	主要管理階層

(二)向關係人借款

關係人類別	109.09.30	108.12.31	108.09.30
本公司之董事	$ 38,500	$ —	$ —

關係人類別	帳列科目	109年7月至9月	108年7月至9月	109年1月至9月	108年1月至9月
本公司之董事	財務成本	$ 243	$ —	$ 243	$ —

合併公司向關係人借款之借款利率與市場利率相當,且為無擔保借款。

(三)對主要管理階層之獎酬

對董事及其他主要管理階層成員之薪酬總額如下:

	109年7月至9月	108年7月至9月	109年1月至9月	108年1月至9月
短期福利	$ 2,697	$ 1,685	$ 6,032	$ 5,024
退職後福利	51	51	154	154
	$ 2,748	$ 1,736	$ 6,186	$ 5,178

上述有關董事及管理階層薪酬之詳細資訊可參閱股東會年報內容。

八、質押之資產

合併公司民國109年9月30日暨108年12月31日及9月30日分別提供資產予金融機構及銷售客戶作為借款抵押擔保及履約保證,其帳面價值明細如下:

項目	109.09.30	108.12.31	108.09.30
土地	$ 62,862	$ 62,862	$ 62,862
房屋及建築	17,205	17,882	18,107
定期存款(帳列其他非流動資產)	4,652	—	—
	$ 84,719	$ 80,744	$ 80,969

九、重大或有負債及未認列之合約承諾:無。

十、重大之災害損失:無。

十一、重大之期後事項:無。

十二、其他:

(一)資本風險管理

合併公司進行資本管理以確保集團內各企業能夠於繼續經營之前提下,藉由將債務及權益餘額最適化,以使股東報酬極大化。

合併公司主要管理階層每季重新檢視集團資本結構,其檢視內容包括考量各類資本之成本及相關風險。合併公司依據主要管理階

層之建議，將藉由支付股利、發行新股、買回股份及發行新債或償付舊債等方式平衡其整體資本結構。

(二)金融工具

1.金融工具之種類

	109.09.30	108.12.31	108.09.30
金融資產			
透過損益按公允價值衡量			
強制透過損益按公允價值衡量之金融資產	$ 7,346	$ —	$ —
透過其他綜合損益按公允價值衡量之金融資產			
權益工具投資	6,390	38,199	37,646
按攤銷後成本衡量之金融資產(註1)	377,792	395,067	385,749
合　計	$ 391,528	$ 433,266	$ 423,395
金融負債			
以攤銷後成本衡量(註2)	$ 112,198	$ 41,945	$ 38,161

註1：係包含現金及約當現金、按攤銷後成本衡量之金融資產、應收票據及帳款淨額、其他應收款及存出保證金。

註2：係包含應付票據、應付帳款、其他應付款、長期借款、存入保證金及股東往來等按攤銷後成本衡量之金融負債。

2.公允價值資訊

(1)公允價值之三等級定義:

a.第1等級輸入值：係指衡量日可取得之相同資產或負債於活絡市場之報價(未經調整)。

b.第2等級輸入值：係指除第1等級之報價外，資產或負債直接(亦即價格)或間接(亦即由價格推導而得)之可觀察輸入值。

c.第3等級輸入值：係指資產或負債之不可觀察之輸入值。

(2)非按公允價值衡量之金融工具

合併公司管理階層認為非按公允價值衡量之金融資產及金融負債於合併財務報告中之帳面金額趨近其公允價值。

(3)按公允價值衡量之金融工具

下表係提供原始認列後以公允價值衡量之金融工具的相關分析:

	109.09.30			
	第1等級	第2等級	第3等級	合計
透過損益按公允價值衡量之金融資產				
上市(櫃)公司股票	$ 7,346	$ —	$ —	$ 7,346
透過其他綜合損益按公允價值衡量之金融資產				
非上市(櫃)公司股票	$ —	$ —	$ 6,390	$ 6,390

	108.12.31			
	第1等級	第2等級	第3等級	合計
透過其他綜合損益按公允價值衡量之金融資產				
非上市(櫃)公司股票	$ —	$ —	$ 38,199	$ 38,199

	108.09.30			
	第1等級	第2等級	第3等級	合計
透過其他綜合損益按公允價值衡量之金融資產				
非上市(櫃)公司股票	$ —	$ —	$ 37,646	$ 37,646

合併公司民國109年及108年度前3季無第1級與第2級公允價值衡量間移轉之情形。

(4)衡量公允價值所採用之評價技術及假設

合併公司金融資產及金融負債公允價值之決定，係使用下列方法及假設為之：

具標準條款與條件並於活絡市場交易之金融資產及金融負債，其公允價值係分別參照市場報價決定(包括掛牌買賣之公司債、政府機構債券、上市(櫃)公司股票及政府公債)。

無活絡市場之未上市(櫃)公司股票係以資產法及收益法估計公允價值。

資產法係經由評估評價標的涵蓋之個別資產及個別負債之總市場價值，並考量不具控制權折減及流動性折減，已反映企業或業務之整體價值。

收益法，按現金流量折現之方式，計算預期可因持有此項投資而獲取收益之現值。

(5)重複性公允價值層級第3等級之變動明細

合併公司重複性公允價值衡量之資產及負債屬公允價值層級第3等級者之變動列示如下：

	109年1月至9月	108年1月至9月
透過其他綜合損益按公允價值衡量之權益工具投資：		
期初餘額	$ 38,199	$ 40,106
處分透過其他綜合損益按公允價值衡量之權益工具	(29,154)	—
認列於其他綜合損益(透過其他綜合損益按公允價值衡量之金融資產未實現損益)	(2,655)	(2,460)
期末餘額	$ 6,390	$ 37,646

(6)公允價值層級第3等級之重大不可觀察輸入值資訊

合併公司公允價值層級第3等級之重複性公允價值衡量之資產，用於公允價值衡量之重大不可觀察輸入值列示如下：

民國109年9月30日：

金融資產：

透過其他綜合損益按公允價值衡量之金融資產

	評價技術	重大不可觀察輸入值	量化資訊	輸入值與公允價值關係	輸入值與公允價值關係之敏感度分析價值關係
股票	資產法	缺乏市場流通性及類似公司股票價格淨值比	0.65-21.14	缺乏流通性之程度越高，公允價值估計數越低	當缺乏流通性之股票淨值比上升(下降)10%，對合併公司權益將增加/減少639仟元

民國108年12月31日：

金融資產：

透過其他綜合損益按公允價值衡量之金融資產

	評價技術	重大不可觀察輸入值	量化資訊	輸入值與公允價值關係	輸入值與公允價值關係之敏感度分析價值關係
股票	收益法	長期收入成長率	2%-10%	當長期收入成長率增加，則公允價值估計數則越高	長期收入成長率增加(減少)1%，對合併公司權益將增加/減少9,233仟元
		加權資金成本率	2.5%	當加權資金成本率增加，則公允價值數越低	加權資金成本率增加(減少)0.5%，對合併公司權益將減少/增加1,035仟元
股票	資產法	缺乏市場流通性及類似公司股票價格淨值比	2.47-60.46	缺乏流通性之程度越高，公允價值估計數越低	當缺乏流通性之股票淨值比上升(下降)10%，對合併公司權益將增加/減少624仟元

民國 108 年 9 月 30 日：

金融資產：

透過其他綜合損益按公允價值衡量之金融資產

	評價技術	重大不可觀察輸入值	量化資訊	輸入值與公允價值關係	輸入值與公允價值關係之敏感度分析價值關係
股票	收益法	長期收入成長率	2%-10%	當長期收入成長率增加，則公允價值估計數則越高	長期收入成長率增加(減少)1%，對合併公司權益將增加/減少6,155仟元
		加權資金成本率	2.5%	當加權資金成本率增加，則公允價值數越低	加權資金成本率增加(減少)0.5%，對合併公司權益將增加/減少778仟元
股票	資產法	缺乏市場流通性及類似公司股票價格淨值比	2.79-65.72	缺乏流通性之程度越高，公允價值估計數越低	當缺乏流通性之股票淨值比上升(下降)10%，對合併公司權益將增加/減少615仟元

(7)第 3 等級公允價值衡量之評價流程

合併公司財務部門負責進行公允價值驗證，藉獨立來源資料使評價結果貼近市場狀態、確認資料來源係獨立、可靠與其他資源一致以及代表可執行價格，並於每一報導期間結束日依據集團會計政策須作重衡量或重評估之資產及負債之價值變動進行分析，以確保評價結果係屬合理。

3.財務風險管理目的與政策

合併公司致力於確保公司於必要時具有足夠且具成本效益之營運資本。合併公司積極管理與營運活動相關之外幣匯率風險、利率風險、權益工具價格風險、信用風險及流動性風險等，以降低市場之不確定性對公司財務績效之潛在不利影響。

合併公司之重要財務規劃，均經審計委員會及董事會依相關規範及內部控制制度進行覆核。合併公司財務部門於執行財務計劃時，均恪遵關於整體財務風險管理及權責劃分之相關財務操作程序。

4.市場風險

合併公司之市場風險係金融工具因市場價格變動，導致其公允價值或現金流量波動之風險，市場風險主要包括匯率風險、利率風險及其他價格風險。

(1)外幣匯率風險

合併公司營運活動及國外營運機構淨投資主要係以外幣進行交易，因此產生外幣匯率風險。合併公司之應收外幣款項與應付外幣款項之部份貨幣相同，此時，若干部位會產生自然避險效果；另國外營運機構淨投資係為策略性投資，故合併公司並未對其進行避險。

合併公司具重大影響之外幣金融資產及負債資訊如下：

單位：各外幣仟元

	109.09.30		108.12.31		108.09.30	
	外幣	匯率	外幣	匯率	外幣	匯率
(外幣：功能性貨幣)						
金融資產						
貨幣性項目						
美金：新台幣	$ 2,890	29.100	$ 3,456	29.980	$ 6,412	31.040
歐元：新台幣	5	33.95	—	—	—	—
人民幣：新台幣	—	—	1	4.305	1	4.35
人民幣：美金	—	—	4,642	0.1433	592	0.1414
非貨幣性項目						
人民幣：美金	$ —	—	$ —	—	$ 1,367	0.1363
以外幣衡量之合併個體淨資產影響數						
美金：新台幣	$ —	—	$ 731	29.980	$ 335	31.040
金融負債						
貨幣性項目						
美金：新台幣	$ 69	29.100	$ 90	29.980	$ 134	31.040
人民幣：美金	—	—	24	0.1433	14	0.1414

註：匯率係每單位外幣兌換為新台幣之金額。

有關外幣匯率風險之敏感性分析，主要係針對報導期間結束日，外幣風險管理之資產及負債為計算基礎。當新台幣對外幣升值/貶值變動達 1%，本公司民國 109 年及 108 年 1 月至 9 月之淨損將分別增加/減少 823 仟元及 1,950 仟元。

(2)利率風險

合併公司之短期借款屬浮動利率之債務，市場利率變動將使短期借款之有效利率變動，進而使未來現金流量產生波動。截至民國 109 年 9 月 30 日、108 年 12 月 31 日及 108 年 9 月 30 日止，合併公司帳列無短期借款。

(3)其他價格風險

合併公司權益工具因投資基金受益憑證、國內外上市(櫃)及未上市(櫃)股票、上櫃公司之可轉換公司債而產生權益價格暴險。有關權益工具價格風險之敏感性分析，係以財務報導期間結束日之公允價值變動為計算基礎。

民國 109 年及 108 年 1 月至 9 月，屬透過損益按公允價值衡量之金融資產中之上市櫃權益證券投資，假若權益工具價格上升/下降五個百分點(5%)，合併公司於民國 109 年及 108 年 1 月至 9 月之淨損將減少/增加 367 仟元及 0 仟元。

其他權益工具之公允價值層級屬第三等級者，其敏感度分析資訊，請詳附註十二(二)。

5.信用風險

信用風險係指交易對方違反合約義務並對合併公司造成財務損失之風險。合併公司之信用風險，主要係來自於營運活動產生之應收款項，與投資活動產生之銀行存款、固定收益投資及其他金融工具。營運相關信用風險與財務信用風險係分別管理。

(1)營運相關信用風險

為維持應收帳款的品質，合併公司已建立營運相關信用風險管理之程序。

個別客戶的風險評估係考量包括該客戶之財務狀況、信評機構評等、合併公司內部信用評等、歷史交易記錄及目前經濟狀況等多項可能影響客戶付款能力之因素。合併公司亦會在適當時機使用某些信用增強工具，如預付貨款及信用保險等，以降低特定客戶的信用風險。

合併公司之客戶群廣大且相互無關聯，故信用風險之集中度有限。截至民國 109 年 9 月 30 日暨 108 年 12 月 31 日及 9 月 30 日止，應收帳款前十大客戶之總額佔合併公司應收帳款總額之比率分別為 81%、80%及 81%。

(2)財務信用風險

銀行存款、固定收益投資及其他金融工具之信用風險，係由合併公司財務部門衡量並監控。由於合併公司之交易對象及

履約他方均係信用良好之銀行及具投資等級以上之金融機構，無重大之履約疑慮，故無重大之信用風險。

6.流動性風險

合併公司管理流動性風險之目標，係為維持營運所需之現金及約當現金、高流動性之有價證券及足夠的銀行融資額度等，以確保合併公司具有充足的財務彈性。

下表係按到期日及未折現之到期金額彙總列示合併公司已約定還款期間之金融負債分析：

	109.09.30				
	短於一年	二至三年	四至五年	五年以上	合　計
非衍生金融負債					
應付帳款	$ 50,965	$ —	$ —	$ —	$ 50,965
其他應付款	22,505	—	—	—	22,505
租賃負債	3,905	4,407	—	—	8,312
股東往來	—	38,500	—	—	38,500
	$ 77,375	$ 42,907	$ —	$ —	$ 120,282

	108.12.31				
	短於一年	二至三年	四至五年	五年以上	合　計
非衍生金融負債					
應付帳款	$ 24,486	$ —	$ —	$ —	$ 24,486
其他應付款	16,900	—	—	—	16,900
租賃負債	4,467	3,617	3,443	—	11,527
	$ 45,853	$ 3,617	$ 3,443	$ —	$ 52,913

	108.09.30				
	短於一年	二至三年	四至五年	五年以上	合　計
非衍生金融負債					
應付帳款	$ 20,927	$ —	$ —	$ —	$ 20,927
其他應付款	16,583	—	—	—	16,583
租賃負債	4,455	6,813	1,489	—	12,757
	$ 41,965	$ 6,813	$ 1,489	$ —	$ 50,267

(三)其他事項：

民國 109 年度前 3 季新型冠狀病毒蔓延世界各地，致部分地區之子公司、客戶及供應商須實施隔離及旅遊限制等政策，對此合併公司

評估整體業務及財務方面並未受到重大影響，亦未存有繼續經營能力、資產減損及籌資風險之疑慮。

(四)重分類：

合併公司民國 108 年 12 月 31 日及 9 月 30 日財務報表若干科目已配合民國 109 年 9 月 30 日之財務報表作適當重分類，其結果對財務報表表達無重大之影響。

十三、附註揭露事項

(一)重大交易事項相關資訊

1.資金貸與他人：無。

2.為他人背書保證者：無。

3.期末持有有價證券情形(不包括投資子公司、關聯企業及合資控制部分)：參閱附表一。

4.累積買進或賣出同一有價證券之金額達新台幣三億元或實收資本額百分之二十以上者：無。

5.取得不動產之金額達新台幣三億元或實收資本額百分之二十以上者：無。

6.處分不動產之金額達新台幣三億元或實收資本額百分之二十以上者：無。

7.與關係人進、銷貨交易金額達新台幣一億元或實收資本額百分之二十以上者：無。

8.應收關係人款項達新台幣一億元或實收資本額百分之二十以上者：無。

9.從事衍生性商品交易：無。

10.其他:母子公司間及各子公司間之業務關係及重要交易往來情形及金額：參閱附表二。

(二)轉投資事業相關資訊：參閱附表三。

(三)大陸投資資訊：參閱附表四。

(四)主要股東資訊：股權比例達 5%以上之股東名稱、持股數額及比例：參閱附表五。

十四、部門資訊：

合併公司提供給主要營運決策者用以分配資源及評量部門績效之資訊著重於每一交付或提供之產品或勞務之種類。

合併公司民國 109 年 1 月至 9 月之應報導部門如下：

記憶體事業群：主要經營記憶體模組、快閃記憶卡製造買賣及隨機存取記憶體買賣。

儲存事業群：主要從事磁碟容錯陣列之研究、開發、製造及買賣。

無線通訊事業群：主要從事無線通信機械器材及電子零組件之製造及買賣。

其他事業群：主要從事塑膠膜及高科技化學材料之研究、開發、製造及買賣。

(一)部門收入與營運結果：

合併公司部門收入與營運結果依應報導部門分析如下：

	記憶體事業群	儲存事業群	無線通訊事業群	其他事業群	調節與銷除	總計
來自外部客戶收入	$ 179,740	$ 129,734	$ 5,754	$ 26	$ (654)	$ 314,600
利息收入	361	241	15	318	—	935
折舊與攤銷	1,775	1,616	829	6,617	—	10,837
採用權益法認列之關聯企業損失之份額	(7,209)	—	—	—	—	(7,209)
應報導部門淨損	(4,789)	(5,184)	(8,949)	(16,690)	—	(35,612)
採用權益法之投資	10,180	—	—	—	—	10,180
應報導部門資產	321,605	299,906	160,730	90,613	(1,187)	871,667
應報導部門負債	7,064	56,651	51,507	8,452	(1,187)	122,487

上列金額衡量資訊係基於監督部門績效及分配資源予各部門之目的，說明如下：

1. 部門淨損係各部門所賺取之利潤，不包含應分攤之採用權益法之關聯企業損益份額及所得稅費用。
2. 除採用權益法之投資、本期所得稅資產及遞延所得稅資產以外之所有資產及負債均分攤至應報導部門。

(二)主要產品及勞務收入資訊：

合併公司於民國 109 年及 108 年 1 月至 9 月主要產品及勞務收入資訊列示如下：

項目	109年1月至9月	108年1月至9月
記憶體模組	$ 2,277	$ 1,474
積體電路	177,402	456,989
快閃記憶體	1	—
商品	60	269,471
記憶體事業群銷售收入合計	179,740	727,934
磁碟陣列	32,965	52,069
商品	67,260	55,646
原料、組件	25,341	23,636
其他	3,514	3,294
儲存事業群銷售收入合計	129,080	134,645
無線通訊及數位電子產品	4,705	—
其他	1,049	—
無線通訊事業群銷售收入合計	5,754	—
微多孔透氣膜	26	—
其他事業群銷售收入合計	26	—
營業收入淨額	$ 314,600	$ 862,579

(三)地區別財務資訊：合併公司於民國109年及108年1月至9月地區別財務資訊列示如下：

地區	109年1月至9月		108年1月至9月	
	收入	非流動資產	收入	非流動資產
中國大陸(含香港)	$ 181,924	$ —	$ 692,099	$ 5,785
台灣	114,837	362,551	144,107	334,416
美洲	4,325	—	10,326	—
亞洲－其他	7,408	—	11,787	—
歐洲	4,277	—	4,025	—
其他	1,829	—	235	—
	$ 314,600	$ 362,551	$ 862,579	$ 340,201

(四)重要客戶財務資訊：合併公司民國109年及108年1月至9月對單一客戶之銷售金額占銷貨收入總額百分之十以上者，明細如下：

客戶名稱	109年1月至9月		108年1月至9月	
	金額	佔當期營業收入百分比	金額	佔當期營業收入百分比
C－55	$ 127,907	40.65	$ 518,049	60.05
C－101	49,155	15.62	9,322	1.08
C－96	—	—	134,530	15.60
	$ 177,062	56.27	$ 661,901	76.73

附表一

單位：仟股/新台幣仟元

有價證券種類	有價證券名稱	有價證券發行人與本公司之關係	帳列科目	期末			
				股數	帳面金額	比率(%)	公允價值
股票	普誠科技(股)公司	—	透過損益按公允價值衡量之金融資產	994	7,346	—	7,346
股票	群鑫創業投資(股)公司	—	透過其他綜合損益按公允價值衡量之金融資產	1,500	6,390	—	6,390

附表二

單位：新台幣仟元

交易人名稱	交易往來對象	與交易人之關係	交易往來情形			
			科目	金額	交易條件	佔合併總營收或總資產之比率
商丞科技(股)公司	鳳凰高科材料(股)公司	1	租賃收入	26	無重大差異	0.01%
商丞科技(股)公司	鳳凰高科材料(股)公司	1	其他收入	2,659	無重大差異	0.85%
商丞科技(股)公司	展連科技(股)公司	1	銷貨收入	654	無重大差異	0.21%
商丞科技(股)公司	展連科技(股)公司	1	應收帳款－關係人	687	無重大差異	0.08%
商丞科技(股)公司	展連科技(股)公司	1	存入保證金	500	無重大差異	0.06%

註1：與交易人之關係有以下二種，標示種類即可:

1.母公司對子公司。

2.子公司對子公司。

註2：交易往來金額佔合併總營收或總資產比率之計算，若屬資產負債科目者，以期末餘額佔合併總資產之方式計算；若屬損益科目者，以期末累積金額佔合併總營收之方式計算。

附表三

單位：新台幣仟元

投資公司名稱	被投資公司名稱	所在地區	主要營業項目	原始投資金額		期末持有			被投資公司本期(損)益	本期認列之投資(損)益
				本期期末	上期期末	股數(仟股)	比率	帳面金額		
商丞科技股份有限公司	前瞻能源科技股份有限公司	台灣	電子零組件製造業、電池製造業、電器批發業、電子材料批發及零售業	40,986	51,973	4,099	18.22%	10,180	(43,559)	(7,209)
商丞科技股份有限公司	BILLION RAY TECHNOLOGIES LIMITED(註)	英屬維京群島	投資大陸等地區事業	—	34,709	—	—	—	(677)	(677)
商丞科技股份有限公司	鳳凰高科材料股份有限公司	台灣	塑膠膜及其他高科技化學材料製造	138,000	138,000	13,800	98.57%	80,988	(16,689)	(16,450)
商丞科技股份有限公司	展連科技股份有限公司	台灣	無線通信機械器材製造、電子零組件製造、電信器材批發及零售、電子材料批發及零售、電信管制射頻器材輸入及國際貿易等	71,830	26,830	6,175	38.28%	70,535	(21,244)	(3,619)

註：本公司為調整組織結構，經民國 109 年 7 月 9 日董事會決議將子公司－BILLION RAY 結束營業並辦理註銷登記，截至民國 109 年 9 月 30 日止，子公司－BILLION RAY 正在辦理註銷登記，已匯回剩餘款項。

附表四

單位：新台幣仟元/美金仟元

大陸被投資公司名稱	主要營業項目	實收資本額	投資方式	本期期初自台灣匯出累積投資金額	本期匯出或收回投資金額		本期期末自台灣匯出累積投資金額	被投資公司本期投資(損)益	本公司直接或間接投資之持股比例	本期認列投資(損)益	期末投資帳面價值	截至本期止已匯回投資收益
					匯出	收回						
寧波豪威科技有限公司	電腦及週邊設備製造與買賣業務	— (註二)	透過第三地投資設立公司再投資大陸公司	32,527 (USD1,100)	—	20,962 (USD709) (註二)	— (註二)	(725) (USD24)	100%	(725) (USD24)	—	—

本期期末累計自台灣匯出赴大陸地區投資金額	經濟部投審會核准投資金額	依經濟部投審會規定赴大陸地區投資限額(註一)
—	—	422,609

註一：以民國109年9月30日經會計師核閱之財務報表計算，本公司赴大陸地區投資限額，茲計算如下：

704,348仟元 × 60% ＝ 422,609仟元。

註二：本公司為調整組織結構，經董事會決議將子公司－寧波豪威結束營業並辦理註銷登記，子公司－寧波豪威已於民國109年5月完成清算程序並匯回剩餘款項，本公司已向經濟部投審會申請註銷投資額度，剩餘USD 391仟元係屬無法匯回之損失，合併公司業已認列相關投資損失。

附表五

單位：仟股

主要股東名稱 \ 股份	持有股數	持股比例
躍利投資有限公司	10,026	10.94%

註 1：本表主要股東資訊係由集保公司以當季季底最後一個營業日，計算股東持有公司已完成無實體登錄交付（含庫藏股）之普通股及特別股合計達 5%以上資料。本公司合併財務報告所記載股本與實際已完成無實體登錄交付股數，可能因編製計算基礎不同或有差異。